



世界最大級 旅の祭典

ツーリズムEXPOジャパン 2018

2018年9月20日(木)～23日(日・祝) 東京ビッグサイト
東京コンファレンスセンター・有明

開催レポート

創ろう。ツーリズムの「新しいカタチ」。



[出展者数] 世界 **136** 力国・地域
国内 **47** 都道府県
1,441 企業・団体

[来場者数] **合計 207,352人**

9月20日(木)／業界・プレス日 **25,928人** 9月22日(土)／一般日 **74,021人**
9月21日(金)／業界・プレス日 **40,345人** 9月23日(日)／一般日 **67,058人**

【主 催】公益社団法人 日本観光振興協会／一般社団法人 日本旅行業協会 (JATA)／日本政府観光局 (JNTO)



ツーリズムEXPOジャパン 2018 過去最高の207,352人が来場！

公益社団法人日本観光振興協会、一般社団法人日本旅行業協会（JATA）、日本政府観光局（JNTO）は9月20日（木）から23日（日）、「ツーリズムEXPOジャパン（TEJ）2018」を東京ビッグサイトで開催。世界136カ国・地域、国内47都道府県から過去最高の1,441の企業・団体が出展し、会期中の来場者数も207,352人で過去最高を記録しました。

9月20日（木）、21日（金）の業界日は基調講演のほか、13カ国の観光大臣・行政トップと国連世界観光機関（UNWTO）など4つの観光組織の代表者が集結した第2回TEJ観光大臣会合、テーマ別シンポジウム、ジャパン・ツーリズム・アワード表彰式、WELCOME RECEPTIONを開催し、テーマである「観光で地域創生を！」を世界視点で考え、発信する場となりました。また、展示会を4日間に拡大し、事前アポイントメント制の展示商談を2日間実施。会期中の商談件数は7,450件（前年比8%増）に上り、マッチング精度も高まりました。

9月22日（土）、23日（日）の一般向けは「見つけよう。旅の『新しいカタチ』。」がテーマ。近年の旅の多角化に伴い、産業観光や酒蔵ツーリズム、リゾートウェディング、アドベンチャーなどのテーマに沿ったエリアを新設。各地の絶景を味わえるVR体

験や大迫力の4DXアトラクションといった斬新な体験型コンテンツで来場者を魅了し、好評を博しました。

来年の「ツーリズムEXPOジャパン2019」は、2019年10月24日（木）から27日（日）の期間中、初めての試みとして大阪（インテックス大阪）で開催します。世界的大型イベントで注目が集まる関西で観光ビジネスの新たな需要拡大を図るべく、引き続き取り組んでまいります。



左から：公益社団法人 日本観光振興協会 理事長 久保成人、一般社団法人 日本旅行業協会 会長 田川博己、国連世界観光機関（UNWTO）事務局長 スラブ・ボロリカシュウィリ氏、日本政府観光局（JNTO）理事長 清野智

■ツーリズムEXPOジャパン 実績

年	2014	2015	2016	2017
出展者数	世界151カ国・地域 国内47都道府県 1,129企業・団体	世界141カ国・地域 国内47都道府県 1,161企業・団体	世界140カ国・地域 国内47都道府県 1,181企業・団体	世界130カ国・地域 国内47都道府県 1,310企業・団体
来場者数	9/26（金）： 業界・プレス日 41,063人 9/27（土）：一般日 61,649人 9/28（日）：一般日 54,877人 合計 157,589人	9/24（木）： 業界・プレス日 5,860人 9/25（金）： 業界・プレス日 40,622人 9/26（土）：一般日 64,959人 9/27（日）：一般日 62,161人 合計 173,602人	9/22（木）： 業界・プレス日 7,011人 9/23（金）： 業界・プレス日 42,023人 9/24（土）：一般日 70,012人 9/25（日）：一般日 66,798人 合計 185,844人	9/21（木）： 業界・プレス日 8,671人 9/22（金）： 業界・プレス日 42,057人 9/23（土）：一般日 74,040人 9/24（日）：一般日 66,809人 合計 191,577人

※広報イベントJAPAN NIGHT（日本橋エリア）
一般来場者は別途15,200人



ツーリズムEXPOジャパン 2018 **4つの事業**

世界の観光分野のトップリーダーが集結

UNWTO (国連世界観光機関)、WTTC (世界旅行ツーリズム協議会)と連動した基調講演と観光大臣会合

① ツーリズムEXPOジャパン2018 フォーラム&セミナー

出展者のビジネス効果を追求する展示商談会を2日間開催、展示会では国内・訪日、海外ともテーマ別観光エリアを強化!

② 展示商談会

会期中の商談件数 : 7,450件 (前年比8%増) / 展示会出展小間数 : 2,257小間

応募総数増加 (2018年: 261件 / 前年比9%増)! 新たな賞も創設、広く内外に「観光の力」を啓発、「観光大国」の実現を目指す!

③ ジャパン・ツーリズム・アワード

TEJ出展者、セラー・バイヤー、VJTMバイヤー、業界関係来賓のビジネス創出の場、ネットワーキングを強化!

④ WELCOME RECEPTION

観光ビジネスを支える技術・サービスが集結! 出展小間数も拡大

インバウンド・観光ビジネス総合展 (日本経済新聞社共催)

PICK UP!

「日韓観光交流拡大に向けた共同緊急アピール」を発表

日本政府観光局 (JNTO)、日本旅行業協会 (JATA)、韓国旅行業協会 (KATA) の3団体は、本年夏以降に発生した自然災害が日本と韓国の相互往来にも影響を与えているなか、双方の観光交流を一層促進させるため、9月20日 (木) に、日韓観光交流拡大に向けた共同緊急アピールを発表しました。

本アピールでは、日韓双方の観光交流促進のため掲げられた「相互交流人口1000万人」を2018年に達成することを目指し、9月以降JNTOと韓国航空会社・旅行会社との共同広告等の取り組みを強化し、日韓旅行商品の販売促進に向けた双方の消費者への働きかけに尽力し、両国観光関係者間の情報収集・情報提供に関する協力体制の強化を行うことを確認しました。



左から日本政府観光局 (JNTO) 理事長 清野智、韓国旅行業協会 (KATA) 会長 梁武承氏、一般社団法人 日本旅行業協会 会長 田川博己、国土交通省 観光庁長官 田端浩氏

「2019日本香港観光年」発表セレモニーを開催

国土交通省 観光庁、日本政府観光局 (JNTO)、香港政府観光局の3組織は、日本と香港の相互の観光交流促進をさらに深めるため、「2019日本香港観光年」を設定。9月21日 (金)、発表セレモニーを開催しました。観光年では、特に日本の地方都市と香港との交流拡大にフォーカスを当て、双方のバランスのよい需要拡大による航空路線の維持、拡大を目指して、3組織が協力関係を強化し、連携した活動を行います。



国土交通省 観光庁、日本政府観光局 (JNTO)、香港政府観光局および、両国観光関係者

開会式

9月20日(木) 9:30～9:45
東京ビッグサイト
西展示棟 3ホール

一般社団法人日本旅行業協会 会長 田川博己

国土交通大臣 石井啓一氏

過去最大規模のツーリズムEXPOジャパン開幕
「観光で地域創生を！」をテーマに世界の観光リーダーが集結

初日の開会式では、田川博己ツーリズムEXPOジャパン (TEJ) 実行委員長が「国際ツーリズムにおいてテロや難民といったさまざまなマイナス要因があったにもかかわらず、2017年は13億2000万人が相互交流し、経済や社会に影響を与えた。雇用創出、平和、災害からの復興などツーリズムの果たす役割は非常に大きい。TEJは『旅の力』を見える化した、日本、世界を代表する総合観光イベントである。日本も2020年までに訪日旅行者数4000万人、海外旅行者数2000万人を目指す中で、世界と力を合わせて旅の良い影響力を広く及ぼすようにしていきたい」と挨拶した。

続いて来賓を代表して挨拶に立った石井啓一国土交通大臣は、本年夏に自然災害の被害を受けた大阪や北海道の復興が着実に進んでいることについて言及。「これからは風評被害を防止するためにも国として正確な情報発信が重要になる。関係者と連携し、観光需要の回復に取り組んでいきたい」と力強く述べた。

【登壇者】

ご来賓：国土交通大臣 石井啓一氏／国土交通大臣政務官 築和生氏／国土交通省観光庁 長官 田端浩氏

主催者：公益社団法人 日本観光振興協会 理事長 久保成人／一般社団法人 日本旅行業協会 会長 田川博己／日本政府観光局 (JNTO) 理事長 清野智

基調講演

9月20日(木) 10:25～11:05
東京ビッグサイト西展示棟 3ホール

テーマ 観光で地域創生を！

基調講演では、UNWTOとWTTCのトップが、持続可能なツーリズム実現に向けた課題について取り上げ、集まった旅行関係者に、イノベーションやパートナーシップ、長期的な戦略策定が求められていると呼びかけた。

ポロリカシュヴィリ事務局長は、海外旅行者数が13億人を突破、ツーリズムの世界GDP比率や雇用が10%を占めるようになった今、「数だけでなくクオリティーの成長」が必要だと話した。国連による2030年までに達成を目指す持続可能な開発目標 (SDGs) を青写真に、イノベーション促進と、その担い手となる中小事業者や起業家の支援、産業基盤を強化するための教育に取り組む方針を示した。また旅行者と受け入れ地域住民、双方にメリットがあるツーリズム実現を目指すには、官民、中央と地方のパートナーシップ強化が不可欠だと説いた。

続いて登壇したマンゾ氏は、7年連続でツーリズム産業の成長ペースが世界経済の成長率を上回ったこと、なかでも目覚ましい成長を続けている日本のツーリズム産業を称賛。一方、2030年には世界の海外旅行人口が18億人に達すると見込まれ、すでに世界各地で観光地の混雑に伴う諸問題が顕在化している現状を懸念。「今、我々はチャンスとチャレンジに直面している」と話し、未来への備えが不可欠だと訴えた。またWTTCが実施した各種リサーチ結果を踏まえ、「ロングタームでの戦略プランニングが鍵。ファクトベースでの実態把握と、これを継続すること。また地

共催：  



ズラブ・ポロリカシュヴィリ氏



グロリア・ゲバラ・マンゾ氏

基調講演者

ズラブ・ポロリカシュヴィリ氏
(国連世界観光機関 [UNWTO] 事務局長)

グロリア・ゲバラ・マンゾ氏
(世界旅行ツーリズム協議会 [WTTC] 理事長 兼 CEO)

域コミュニティとの関係強化を」と訴えた。

なお、今年はWTTCも共催に加わり。同日17時からは東京コンファレンスセンター・有明でWTTCネットワークング・レセプションが開催された。



第2回 TEJ観光大臣会合

9月20日(木) 14:30~16:30
東京コンファレンスセンター・有明 4階 ホールB

テーマ 観光で地域創生を!

共催:



13カ国の観光首脳と4国際観光組織を迎え、19名が参加—持続可能な地域開発について各国の最新事例を共有

初開催となった昨年に引き続き、第2回TEJ観光大臣会合が今年も開催された。アジア、ヨーロッパ、アフリカ、中南米の13カ国の観光大臣および観光行政トップと、国連世界観光機関（UNWTO）、世界旅行ツーリズム協議会（WTTC）、太平洋アジア観光協会（PATA）、初参加となるアドベンチャートラベル・トレード・アソシエーション（ATTA）の4国際観光組織の代表5名が一堂に会した。田端観光庁長官と小池東京都知事を含め、参加者は合計19名でメンディラッタ氏がモデレーターを務めた。

ポロリカシュヴィリUNWTO事務局長の「このような重要なメンバーが集まる場は非常に貴重。革新的なアイデアの共有に期待したい」という挨拶に続き、各参加者のスピーチが行われ、人気観光地のボラカイ島を環境保全のため一時閉鎖したフィリピンを皮切りに、持続可能な地域開発について各国が取り組んでいる最新事例の紹介が行われた。



モデレーターズアイ



観光が持つ多様な力を共有

キャシェイ・コンサルティング 創設者 兼
代表取締役社長
アニータ・メンディラッタ氏

将来に向けて我々は、観光を持続可能な形で発展させることが必要だ。この世界は観光を必要としており、今日の会合には重要な役割を果たす方々が参加している。我々はコミュニティを通じて観光をどう構築していくのか、雇用創出や投資誘致、貧困への対処などいろいろなレベルで考える必要がある。

その一方で近年は、全世界が災害の脅威にさらされている。我々は母なる自然の怒りから逃れることはできないが、よりよい形で地域が復興するにも観光は大きな力になる。経済のみならず、精神の復興にも観光は貢献し得る。観光業は人々の思いやりを伝えられる手段であり、その手段をどう具体化することも考えたい。

UNWTO世界観光倫理憲章署名式 アサヒトラベルインターナショナル、 東武トップツアーズが署名

国連世界観光機関（UNWTO）の「世界観光倫理憲章」に、アサヒトラベルインターナショナル福田叙久代表取締役会長と東武トップツアーズの坂巻伸昭代表取締役社長が署名を行った。署名式には田端浩観光庁長官とズラブ・ポロリカシュヴィリUNWTO本部事務局長、UNWTO駐日事務所代表兼世界観光倫理委員会委員の本保芳明氏が出席した。「世界観光倫理憲章」は、これまでに世界73カ国・5地域の553企業及び団体が署名している。



第2回 TEJ観光大臣会合 登壇者

美しく楽しいフィリピンを持続させるために

ベルナデット・ロムロ・ブヤット氏

フィリピン共和国 観光大臣



フィリピンの観光業が急速に成長していることは、大きな誇りである。しかし、観光地の魅力が損なわれたら、観光業の発展は続かない。人気の高い観光地であれば、自然環境や文化

財への影響は大きい。例えばボラカイ島は、6カ月間クローズとし、自然環境の回復に充てている。10月には再オープンするが、これまでのような成長はできないだろう。それでも持続可能性を優先した。これをテストケースとし、楽しい場所としてのフィリピンを持続させていきたい。

観光先進国に学び、起業家を支援

エーリクス・エグリーティス氏

ラトビア共和国 経済省副大臣



我々は2014年～2020年を対象とした観光開発に関するガイドラインを策定した。これが観光業の発展の概念的な枠組みとなっており、この中では持続可能性についてもふれている。ラト

ビアは小国なので、まずはもっと世界の人に知っていただく必要があるが、観光地の混雑緩和などについては、すでに課題を抱える国から学び、予防策も必要と考えている。また、質の高い観光プロダクトの開発に向けては起業家を積極的に巻き込み、支援している。

「GNH」の理念は観光開発の基本

チミー・ペム氏

ブータン王国 ブータン政府観光局 ディレクター



我が国では1974年から人間中心の開発を推進しており、観光についてもマイナスの影響がないよう慎重な発展を心がけている。その基本にあるのは持続可能な開発を重視する国民総幸福量 (GNH) の理念だ。外国人観光客には1日

当たりの消費額が定められているが、その収入は国民に対する無料の医療や教育など、持続可能な形で使われている。また、ブータンの森林は国土面積の72%を占め、CO₂の吸収量は排出量を上回る。

経済的・社会的リターンを考慮すべき

モハマディン・クタピ氏

マレーシア 観光芸術文化大臣



マレーシアには国家エコツーリズム計画があり、持続可能な観光開発は、自然を保護し、コミュニティの発展を促している。また、マレーシアはホームステイプログラムのパイオニアである

と自認している。ホームステイは農村をはじめ地方で行うことで、地域の人も自分たちが主体であると感じられ、経済活動に参加している実感を得ることができている。観光の発展には、経済的なリターンだけでなく、こういった社会的なリターンも考慮すべきである。

地方観光拡大し経済格差解消

ウィーラサック・コースラット氏

タイ王国 観光・スポーツ大臣



タイには年間3500万人の外国人観光客が訪れている。ただ、その半数の目的地は一般的な観光地。今後はさまざまな地方のライフスタイルや食べ物、生產品といった現地での体験を

通じて本当のタイを知ってもらうことが重要になるだろう。地方観光の拡大は都市部との経済格差を解消するだけでなく、住民にも自分たちのルーツに対する誇りを持つてもらうことにつながると考えている。

多様なコミュニティの関与が基盤

ランジット・アルウィハール氏

スリランカ民主社会主義共和国
観光開発・キリスト教副大臣

スリランカでは持続可能な観光開発に力を入れている。これを実現するための鍵は、多様なコミュニティの関与が基盤であるという点だ。スリランカはビザの緩和などさまざまな施策を実

行している。観光業はスリランカのGDPに最も貢献している産業の1つである。美しい、いつ訪れても笑顔でお迎えするスリランカという島国を、ぜひ訪れてほしい。

地域社会の参加が発展の鍵

グラハム・アブド・ガーディル・ダミン氏

スーダン共和国 観光、古代および野生動物省 副大臣



自然環境、社会的影響、文化的影響、そして地域社会という観点から、持続可能性についてどのように考えるべきだろうか。地域住民のニーズを満たし、自然環境や文化財を守るための適

切な開発には、地域社会の関与が不可欠だ。スーダンでは現在、これらを念頭に置いてプロモーションやトレーニング、インフラ整備などに取り組んでいる。今では環境保護組織を持つコミュニティもある。

ゾーニング導入で環境保全を実施

エンリケ・デラマドリー・コルデーロ氏

メキシコ合衆国 観光大臣



メキシコは観光分野が発展する一方、観光地の混雑緩和や環境保全が課題となっている。地方自治体がデベロッパの圧力にさらされるケースもあり、課題解決に向

け、連邦政府が地方政府の観光計画立案に積極的に関わる必要があると考えている。そこでメキシコ政府は今後、最も開発が目覚ましいカリブ沿岸地域の土地利用にゾーニングの考え方を導入する予定であり、数カ月以内に取り組む意向だ。

追求すべきは“量より質”

ソルディス・コルブルン・

レイクフォルド・ギルバドッティル氏

アイスランド共和国 観光産業イノベーション大臣



アイスランドの観光業は著しく成長しており、人口33万人に対し外国人観光客は200万人を超えた。観光業の勃興は、為替やインフラなどに影響している。その中で2015年～2020年の

ロードマップを策定した。デスティネーションマネジメントプランでは、今後アイスランドの何を売りにして、どんな層にアピールするかも決定した。観光客の満足度は向上しているが、地域に負荷がかかりすぎれば持続可能な開発はできない。やはり量より質を求めるべきである。

ホストとゲストの双方に教育を

タオン・コン氏

カンボジア王国 観光大臣



持続可能な観光を実現するには、観光客と受け入れる側両方に教育が必要と考える。我が国では密猟者がホームステイやツアーガイドなどの職につくケースが増えている。それは観光の方が収入がいいと教育を通じて知ったからで、彼らは密猟の2〜3倍の収入を得ている。また、訪れる観光客側に対しても、地域のコミュニティや慣習を尊重する教育が必要だ。さらに重要なのはこうして得た利益を公平に配分することであると考えている。

誰もが輝ける共生社会・東京へ

小池 百合子氏

日本 東京都知事



東京は2019年にラグビーワールドカップ、2020年にオリンピック・パラリンピックというメガイベントを控えている。こうしたイベントは経済発展に寄与するのはもちろん、バリアフリー化をさらに進め、誰もが生き生きと輝くことのできる共生社会へと歩みを進めるチャンスだ。伝統とイノベーションが共存しているのも東京の魅力。観光資源の多様化に取り組み、世界で最も選ばれる都市を目指していきたい。

新たな観光法が発効予定

オウン・マウン氏

ミャンマー連邦共和国 ホテル観光省大臣



我が国における観光振興の目標は、経済発展の促進とともに地域社会に生計の手段を提供することである。私は大臣に就任した2016年以来、レスポンスブルで持続可能な観光発展を目指し、コミュニティに根ざしたツーリズムの導入や観光人材の能力開発を行ってきた。近い将来、観光による利益の最大化と悪影響を最低限に抑えることを目的とした、新たなミャンマー観光法が発効される予定だ。

遊牧民の文化を守りながら開発も行う

ツェレンバト・ナムスライ氏

モンゴル国 環境・観光大臣



モンゴルにとって観光業は大きな存在だ。観光による経済効果は、コミュニティ全体に行き渡るものであり、生活水準の向上に寄与するからだ。モンゴルでは観光開発を進行するうえで、道路や鉄道、航空路などインフラへの投資が必要とされている。しかし、そこでモンゴルに住む人々と外国から訪れる観光客の双方を考慮した開発を行わなければならない。青い空や美しい星空はモンゴルの魅力だ。遊牧民の文化を守りつつ、観光開発を行っていく。

広域連携し、体験素材を磨き上げる

田端 浩氏

日本 国土交通省 観光庁長官



日本はインバウンドを政府の成長戦略に掲げ、東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年には4000万人の訪日外国人誘致を目指している。日本には東京やゴールデンルートだけでなく、地方にも魅力的な観光資源が数多くある。各地域が広域連携して誘客するとともに、体験素材を磨き上げ、長期滞在を促す取り組みを重視しながら持続可能な観光交流の発展を進めていきたい。

コミュニティを巻き込む長期計画

グロリア・ゲバラ・マンゾ氏

世界旅行ツーリズム協議会 (WTTC) 理事長 兼 CEO



オーバーツーリズムの課題には官民連携だけでなく、その中心にコミュニティを置き、コミュニティがメリットを得る形を考えるべきである。問題解決には十分な準備や長期的な取り組みが必要だが、得てして政府はそうした取り組みに向いておらず、コミュニティ自身が力を発揮することが多い。今後の観光分野の成長は20カ国に集中すると言われているが、テクノロジーも活用し、需要の分散と拡大を図る努力が必要と考えられる。

これからの観光業に必要な“成長の管理”

マリオ・ハーディ氏

太平洋アジア観光協会 (PATA) CEO



国の美しさは、1カ所の有名観光地で知ることとはできない。その国の人々と多様性に触れて初めて知るものだ。通常は成長が問題視されることはない。しかし観光業は、急速な成長が課題になる特殊な性格を持つ。観光業はこの先10年は成長すると見込まれている。持続可能な観光業のためには、成長をいかに管理するかが重要だ。それができれば、さまざまなコミュニティが恩恵を受けられるだろう。

すでにあるものを活用し持続成長

シャノン・ストーウェル氏

アドベンチャートラベル・トレード・アソシエーション CEO



これからの観光は持続可能性、コミュニティ開発、成長の達成という3つの視点がポイントになる。その意味でアドベンチャー・トラベルは、ロボットなどによる自動化が難しく、雇用創出できる数少ない産業だ。すでにあるものを活用することで旅行者に喜んでもらうという点でもビジネスモデルの一つになり得るだろう。その一方で、観光客にも観光地への敬意を持つよう醸成していかなければならない。

総括

ジュウ・シャンジョン氏

国連世界観光機関 (UNWTO) 上級部長



今回の観光大臣会合に集まった20人に迫る大臣および国際組織のリーダーたちは、持続可能な観光開発の戦略を共有した。地方や地域の観光事業における持続的な開発は、特に重要な課題である。この会合では、各国で持続可能な計画がすでに実施されている例が示され、学ぶことができた。これらの計画は、適切なマネジメントのもとで、常に地域社会を考慮したうえで進められなければならない。この会合の継続的な開催を期待する。

アジア・ツーリズム・ビジネス・ リーダーズ・フォーラム

9月21日（金）10:00～12:30
東京ビッグサイト
会議棟 6階 会議室 607・608

3カ年
テーマ

持続可能な観光 ～アジアが世界をリードする～

共催：  
In collaboration with
UNWTO Pacific Asia Travel Association

2018年
テーマ

観光ビジネスと地域の調和に向けた ツーリズムのマネジメント

開会挨拶

10:00～10:05



〔開会挨拶〕

マリオ・ハーディ氏

（太平洋アジア観光協会（PATA）CEO）

観光の成長を 「マネジメント」する時代へ

今日は、観光が現在直面しているさまざまな課題について話したい。「観光の成長をマネジメントしなくてはならない」と言う時代が来るとは想像もつかなかったが、社会は急速に変化しており、我々は不確実な時代に生きている。

UNWTOは、アジア地域の観光が今後10年で2ケタの成長を遂げると予測しているが、未来の成長に向けてきちんと準備を行うことが必要だ。廃棄物管理や輸送、道路をはじめとしたインフラなど、観光に関連するさまざまな要素について前広に計



画し、マネジメントしていかなければならない。

お集まりいただいた官民の皆さんが互いに対話し、持続可能で責任ある形で未来を迎えるための議論が行われることを期待している。

基調講演 ◎サステナブル・ツーリズムの世界的な最新動向と課題

10:05～10:20



〔登壇者〕

グレアム・ミラー教授

（和歌山大学 特別主幹教授、国際観光学研究センター 副センター長、英国サリー大学 文学部・人文学部 学部長）

今こそ、観光の持続可能性を 測る指標づくりを

日本のインバウンドは急速な成長を遂げる一方、京都などでは観光客の集中により、地域住民との摩擦が生じている。バルセロナやベネチアなどでも同様の問題が発生しており、オーバーツーリズムは世界共通の課題だ。我々は観光を単に収入を得るための手段としてではなく、持続可能な社会の発展にどう貢献できるかを考える必要がある。

経済的な利益の追求と同時に、環境への負荷低減を両立するには？ この課題に対処し、観光の持続可能性を測る一つの手段として開発されたのがETIS（ヨーロッパ観光指標システム）である。ETISは、観光産業が社会や経済、環境に与える影響を測定する指標であり、官民が正しく共有することで、よりよい政



策の策定や観光地の適切なマネジメント方針の決定に役立っている。

我々は観光が成長しているのを知っているが、「持続可能な観光」が成長しているかどうかの答えは、まだ誰も持っていない。しかし、まず具体的なビジョンを持つとともに、そのビジョンを実現するための指標を設定し、裏付けとなるデータを測定することが必要だ。観光の経済効果のみに注目するのではなく、今こそ観光産業全体に関わる持続可能性について包括的に測定するシステムや指標づくりが求められていると言える。

パネル・ディスカッションでは2つのセッションが行われ、持続可能な観光の推進に向けて国内外の各地域で行われている事例紹介が行われた。セッション1は、オーバーツーリズムなどのネガティブな影響を適切にマネジメントしつつ観光が地域に

貢献する事例、セッション2は、観光が地域の持続的な成長に貢献している事例を紹介。総括ディスカッションでは両セッションを通じて見えてきた、世界に共通する課題について多角的な論議が行われた。

セッション ① 10:20～11:10

テーマ：持続可能性に向けたツーリズムのマネジメント

～観光地への過密を管理し、持続可能な観光のメリットを最大化するには？

モデレーター：高松 正人氏（株式会社JTB総合研究所 上席研究理事）

パネリスト：門川 大作氏（京都市長）

安田 堅太郎氏（西日本鉄道株式会社 自動車事業本部 営業企画部長）

マリオ・ハーディ氏

宿泊税やバス周遊パスによる分散化など具体策を共有

京都市は観光客を「季節・時間・場所」の3要素によって分散させる取り組みを行い「繁忙期と閑散期の差は平成15年の3.6倍から、平成29年は1.5倍に縮小した」と門川氏は述べた。また、観光客の増加に伴う課題解決の財源として、今年10月から宿泊税を導入することも明らかにした。

安田氏は九州すべての高速・路線バスが乗り放題の「SUNQパス」を紹介。約1年という短期間で49事業者の連携が実現したこの商品について、安田氏は「一極集中ではなく『面』でPRすることで、九州全体を持続的に成長させたい」と語った。

ハーディ氏は観光地が物語を発信するためのPATAの研修や、タイ国政府観光庁の「タイ12の秘宝」キャンペーンを紹介し、「知られざる魅力的な場所を紹介することも、観光の需要分散と持続可能性に貢献する」と語った。



高松 正人氏



門川 大作氏



安田 堅太郎氏



ダトゥ・ラシディ・ハスブラ氏



パラス・ルーンバ氏



菅原 昭彦氏

セッション ② 11:10～12:00

テーマ：ツーリズム・ビジネスと地域社会の暮らしやすさ

～ツーリズム・ビジネスが地域社会の持続的な成長を支える

モデレーター：グレアム・ミラー教授

パネリスト：ダトゥ・ラシディ・ハスブラ氏（マレーシア観光芸術文化省 事務次官）

パラス・ルーンバ氏（グローバル・ヒマラヤ・エクスペディション創設者 兼 CEO [インド]）

菅原 昭彦氏（気仙沼商工会議所 会頭）

観光客と地域社会の連帯感生むアジアと日本の事例

ハスブラ氏は、マレーシアの村々の伝統家屋に旅行者が宿泊して生活文化を楽しむ民泊プログラム「カンボンステイ」を紹介。「1995年に政府主導で始まったが、徐々に参画コミュニティが増加していった。今年上半年は360万米ドルの収入をもたらすなど、地域の経済活性化に貢献している。

ルーンバ氏は2013年にインドのラダック地方の村々で開始したプロジェクトを紹介。ソーラーパネルを設置し、LEDライトに光を灯すまでの過程に観光客も参加するというもので、同氏は「インパクト・ツーリズム」と呼び、「観光客に忘れがたい体験になり、地域にもさまざまな好影響が生まれた」と語った。

宮城県気仙沼市では東日本大震災を機に、中心産業である水産業と観光の連携に取り組み、漁業や水産を素材とした観光商品を充実させた。菅原氏は「地域の価値の再発見や誇りの醸成など、若年層や地域全体の成長につながったと感じる」と語った。

総括セッション 12:00～12:30

テーマ：持続可能なツーリズム・ビジネスの未来

モデレーター：高松 正人氏

パネリスト：マリオ・ハーディ氏

グレアム・ミラー教授

地域の重要課題を見極め、明確なビジョンを描く

セッションを振り返り、ミラー教授は「どの事例にも共通するのは、地域が目指すビジョンが明白であること。効果測定の指標作りもビジョンに沿うことが肝要」と語った。そうした取り組みを行う京都市を評価し「日本でも、ETISのように観光の持続可能性を測定する共通の指標が作られ、地域間の比較や学び合いができるようになれば」と期待を述べた。

ハーディ氏は「紹介事例の多くは、官民の連携が良好な点もポイント。地域のビジョンも官民連携で描くことが望ましい」と語った。会場から、SDGs17項目の優先事項について聞かれると「PATAにとってはゴミ問題とプラスチックによる海洋汚染。これも官民の協力をはじめ、あらゆる対策が急務」と答えた。

高松氏は「まず、各地域にとっての重要課題を明確にし、観光との関連について考えることが重要」として、「観光を通じて人々が誇りを醸成できれば、自ずと観光と地域社会に調和が生まれる」と総括した。

テーマ別シンポジウム

9月21日(金) 10:00 ~ 17:00 東京ビッグサイト 会議棟 6階 会議室605-606

デジタルマーケティング・シンポジウム

10:00~12:00

テーマ ICTを活用した観光地域づくりの あるべき姿を考える

AIやICTによるイノベーションの遅れに警鐘

ネット社会でツーリズムでも対応必至なのがデジタルの活用だ。基調講演に登壇した谷氏は「国内外の観光客増加による交通渋滞、高齢者事故の多発が社会問題になっている」と言及。AIをはじめとしたイノベーションが地域活性化に寄与すると語った。

その後のパネル・ディスカッションでは、岐阜県下呂温泉の事例をもとに討論。瀧氏が「50年前から宿泊データを取ってマーケティングを仕掛けているものの、温泉地以外の魅力発信を模索している」と述べたのに対し、牧野氏は「下呂温泉は近隣の高山と顧客層が異なり、ターゲットを明確化する必要がある」と指摘。谷口氏は「今後はモバイル、AI、音声、チャットへの対応が重要にある」と危機感を述べ、吉田氏も「デジタルとともに、オフラインのマーケティングなどとのバランスが重要」と語った。

最後はモデレーターの高野氏が「SNSによってタビナカの消費行動も高まっている。地域もAI、ICTを組み合わせた試みが必要になる」とまとめた。

基調講演 AIを活用した次世代2次交通システムの実現

谷 直樹氏 (株式会社NTTドコモ 執行役員 法人ビジネス本部 IoTビジネス部長)

パネル・ディスカッション

モデレーター: 高野 雅臣氏 (トラベルボイス株式会社 代表取締役社長)

パネリスト: 吉田 憲司氏 (日本政府観光局 [JNTO] 企画総室 デジタルマーケティング室 室長)

谷口 紀泰氏 (エクスペディアホールディングス株式会社 地方創生推進室 室長
兼 関西・北陸地区本部長)

牧野 友衛氏 (トリップアドバイザー株式会社 代表取締役)

瀧 康洋氏 (一般社団法人下呂温泉観光協会 会長)



谷 直樹氏



高野 雅臣氏



吉田 憲司氏



谷口 紀泰氏



牧野 友衛氏



瀧 康洋氏

ラグジュアリー・トラベル・マーケット・シンポジウム

13:00~14:30

テーマ ラグジュアリー・トラベルの訪日促進に向けて

富裕層を4つの志向と消費性向に分類。きめ細やかな対応を求める

2016年に3.7兆円だった訪日外国人旅行消費額を20年に8兆円、30年には15兆円まで拡大させる目標を掲げるなか、JNTOは着地で100万円以上消費する旅行を富裕旅行と定義付け。長期滞在と消費拡大を同時に実現するのが富裕旅行者だとして、柏木氏は「消費額はさることながら、新しいトレンドセッターになる」と重要性を説明。高い快適性を求める「クラシックラグジュアリー」志向と本物の体験を求める「モダンラグジュアリー」志向が存在すると定義し、そのうえで、すべての費目において高額消費を行う「オールラグジュアリー」タイプと自分の興味関心が高い事項に重点的に投資を行う「セレクトラグジュアリー」タイプに分けて捉えることが重要とした。

高野氏は「旅行タイプはお客様や国によって全然違う。アラブ人はオールラグジュアリーが多いが、欧米でMBAを取得した人はセレクトラグジュアリー」と相手をよく知ることの重要性に言及。今泉氏は「特に言語と交通に不安を抱えている人が多い」と満足度を上げるための課題点を指摘し、村木氏は「点でしっかり作って、面にしていくのがDMOの役目。民間企業を巻き込むために、富裕層取り込みの機運を作っていく必要がある」とした。

基調講演

柏木 隆久氏 (日本政府観光局 [JNTO] 理事)

パネル・ディスカッション

モデレーター: 柏木 隆久氏

パネリスト: 高野 雅臣氏 (株式会社クリル・ブリヴェ 創業者&CEO)

村木 智裕氏 (一般社団法人せとうち観光推進機構 外部人材アドバイザー、株式会社Intheory 代表取締役)

今泉 愛子氏 (グランドハイアット東京 チーフコンシェルジュ、レ・クレドールジャパン バイスプレジデント)



柏木 隆久氏



高野 雅臣氏



村木 智裕氏



今泉 愛子氏

テーマ 2030年双方向交流9000万人時代 に向け、日本人アウトバウンド市場 の潜在力について確認する

LCCやデジタル技術の活用で出国者3000万人の実現を

急速な成長を遂げるインバウンドに対し、日本人出国者数には大きな変化が見られない。2030年の双方向交流人口9000万人を目指すなかで、出国者増に向けて旅行業界が果たす役割は大きい。冒頭で基調講演を行った稲岡氏は、インバウンドとアウトバウンドのアンバランスな現状を説明したうえで、アウトバウンドの増加には「航空座席数の増加やAIなど先端技術への対応、富裕層市場の攻略、近隣国への旅行回数増加が鍵になる」などと話した。

パネル・ディスカッションでは、檀原氏が「日本のアウトバウンドは伸びる可能性はある」としつつ、「テーマ別観光や品質重視にシフトして海外旅行が伸びている韓国や台湾に学ぶ必要もある」との見解を示した。権氏はLCCを使用した商品造成により活性化した韓国の海外旅行市場の現状を説明し、「日本でもLCCを活用した旅行商品造成が進めば、顧客の選択肢の幅が広がるため、アウトバウンドも成長するはずだ」との持論を展開した。

基調講演 日本人アウトバウンド市場の展望

～アウトバウンドの拡大がインバウンドの成長を促す～

稲岡 研士氏 (株式会社ANA総合研究所 取締役副社長)

パネル・ディスカッション 出国率向上に向けて何ができるか

モデレーター：石原 義郎氏 (株式会社航空新聞社 取締役編集長)

パネリスト：檀原 徹典氏 (株式会社ミキ・ツーリスト 代表取締役社長)

権 相鎬氏 (株式会社ハナツアー 常務理事)

稲岡 研士氏



稲岡 研士氏



石原 義郎氏



檀原 徹典氏



権 相鎬氏

9月21日(金) 13:30～16:00 東京ビッグサイト 会議棟6階 会議室607・608

平成30年度(第18回) 全国産業観光フォーラム

● 主催：全国産業観光推進協議会・公益社団法人日本観光振興協会

地域との連携と国際展開に重点

地域再生の切り札として期待される産業観光。全国産業観光推進協議会の須田寛会長より「インバウンド誘致、産業訪問の効率化、関連イベントの刷新を柱に事業展開を図る」と事業方針が示された。

第12回「産業観光まちづくり大賞」では「海女小屋はちまんかまど」を運営する三重県鳥羽市の兵吉屋が、海女文化を観光資源化したことや後継者不足解消への貢献などが評価され金賞を受賞したほか、梅守本店(奈良県)、益子町観光協会(栃木県)、富士吉田市(山梨県)、那覇市観光協会(沖縄県)が受賞。多摩大学名誉教授望月照彦氏より「受賞作品に共通するのは日本の“手わざ”。AIにはできないことが感動を呼ぶ」と講評があった。

先進事例として、桑名市産業観光まちづくり協議会・エイベックス株式会社、大田観光協会、北九州産業観光センターより各取り組みが紹介され、丁野朗氏がモデレーターを務めたパネル・ディスカッションでは、地域との連携と国際的な展開の重要性が確認された。

モデレーター：丁野 朗氏 (東洋大学大学院国際観光学部客員教授・日本観光振興協会特別研究員)

パネリスト：生駒 健二氏 (エイベックス株式会社 執行役員)

小林 平氏 (一般社団法人 大田観光協会)

木本 昭宏氏 (北九州産業観光センター 会長)



須田 寛氏



丁野 朗氏



生駒 健二氏



小林 平氏



木本 昭宏氏

9月21日(金) 10:00~12:00 東京ビッグサイト 会議棟7階 会議室703

日本におけるアドベンチャーツーリズムの地域経済活性化実現・事業機会創出の可能性

オーバーツーリズム解消手法としてのアドベンチャーツーリズム

サステナビリティと地域への経済波及効果を重視し、北米・欧州を中心に49兆円の市場規模があるとされ、現在も拡大を続ける“アドベンチャーツーリズム(AT)”をテーマにしたセミナーが初めて開催された。

ATは顕在化するオーバーツーリズム解消の手法としても注目されており、世界100カ国1400のAT関連組織・団体が加盟するATTAのストーウェル氏は、「ATは自然、アクティビティ、文化の3要素のうち2つ以上を含む旅行を指し、旅行者がどう自身を変革できるかが重要だ」などと解説。フィニフロック氏は、ATTAが連携してATを軸に経済活性化を実現させたヨルダンとマケドニアの事例を紹介し、「地域への経済効果が確実に現れている」などと話した。

セミナー後半では、東洋大学の森下ゼミの学生が4グループに分かれ、北海道東エリアで新たなATを提案するプレゼンテーションを実施。挨拶に立った森下教授は、「ATはマストツーリズムと違い、地域のありのままの人・資源こそが重要であり、経済活性化が課題となっている地方こそが主役となりうる。また日本としても取り組みが急がれる北米・欧州市場の獲得に資する」などと呼びかけた。

学生の発表を聞いたストーウェル氏とフィニフロック氏は、「今すぐにでも商品化したい提案だ」などと講評し、ビジネス視点を交えたアドバイスを送った。

講師：シャノン・ストーウェル氏

(Adventure Travel Trade Association (ATTA) / CEO)

ジェイク・フィニフロック氏

(Adventure Travel Trade Association (ATTA) /

Regional Director, Asia)



シャノン・ストーウェル氏



ジェイク・フィニフロック氏



森下 晶美氏

9月21日(金) 17:00~18:15 東京ビッグサイト 会議棟6階 会議室607・608

「UNWTO／UNESCO 観光と文化をテーマとした国際会議」
京都開催プレシンポジウム

● 主催：京都市・国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所

「持続可能な開発」に貢献する豊かな文化

冒頭にポロリカシュヴィリ事務局長が挨拶し、「文化観光は各国・地域における社会・経済・文化の発展にとって重要だ」と強調。「文化観光を象徴する都市である京都で開催される第4回会議では、国連『2030アジェンダ』の『持続可能な開発』の実現に向け豊かな文化が大きく貢献することも確認されるだろう」と期待を示した。

パネル・ディスカッションでは、アトキンソン社長が「文化財が壊れるくらいの観光客が来るのなら、あくまでも保存するための活用として、料金を上げて調整するのは当然だ」と持論を展開。門川市長は「外国人旅行者が京都に伝わる日本の心・文化を評価し日本人が価値観を共有する。観光と文化の両方が発展し、匠の技も伝えられていく」と訴えた。内藤審議官が「文化と観光の調和、双方とも発展していくことを真剣に考えていかねばならない」と語り、高科審議官は「文化財の魅力が増せば観光客が増え、地域の活性化や文化財への再投資・継承につながる。そうした好循環を生み出す施策を文化庁と連携しながら展開していきたい」と意欲を示した。

本保代表からは「2019京都会議は観光と文化の未来を議論する場となるが、議論に終わることなく、我が国における観光と文化の理想的なパートナーシップ、行動規範づくりのスタート地点となり、国際的にも貢献できるよう強く願っている」と期待が寄せられた。

挨拶：ズラブ・ポロリカシュヴィリ氏 (国連世界観光機関 (UNWTO) 事務局長)

登壇者：高科 淳氏 (観光庁審議官)

内藤 敏也氏 (文化庁長官官房審議官)

アトキンソン・デービッド・マーク氏 (株式会社小西美術工藝社 代表取締役社長)

門川 大作氏 (京都市長)

モデレーター：本保 芳明氏 (国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所 代表)



ズラブ・ポロリカシュヴィリ氏



高科 淳氏



内藤 敏也氏



アトキンソン・デービッド・マーク氏



門川 大作氏



本保 芳明氏

9月22日(土) 14:00~18:00 東京ビッグサイト 会議棟6階 会議室605・606

第7回 旅行業界研究講座 ～先輩社員大いに語る～

● 主催：一般社団法人日本旅行業協会 (JATA) 広報室

大学生に旅行業界の最新事情をレクチャー

旅行業界を目指す大学生を対象に、旅行業界の現状や採用情報を伝えるこの講座は参加者の多くが旅行業界に就職。今回は、全国から250名の学生が参加した。4部構成で行われ、第1部の矢嶋氏の基本講座「今、旅行業で起きていること教えます」に続き、第2部の特別トークセッション「デジタル時代におけるこれからの旅行業 ～価値観の多様化に向き合うために～」では、波瀾氏と藤澤氏により、旅行業界の将来の展望について活発なトークが行われた。

第3部の「先輩社員大いに語る『旅行業はこんな所』」では佐藤氏がコーディネーターを務め、旅行会社に入社して3～7年目の若手社員5名によるパネルディスカッションが展開された。第4部の「人気企業 本社人事担当者に聞く『採用したい人材』」では、矢嶋氏がコーディネーターを務め旅行会社4社の人事担当者が登壇し、新卒採用に関する具体的なアドバイスを行った。

登壇者・コーディネーター：

矢嶋 敏朗氏（一般社団法人 日本旅行業協会 広報室長）
波瀾 郁代氏（株式会社JTB総合研究所 執行役員 企画調査部長）
藤澤 政志氏（株式会社ナビタイムジャパン インバウンド事業部 部長）
佐藤 均氏（株式会社日本旅行 秘書広報部 部長）



矢嶋 敏朗氏



波瀾 郁代氏



藤澤 政志氏



佐藤 均氏

9月22日(土) 13:00~15:00 東京ビッグサイト 会議棟6階 会議室607・608

第2回 地域活性化ネットワーキングフォーラム ～どこにでも観光需要はある！

● 主催：2020年東京オリンピック・パラリンピックを活用した地域活性化推進首長連合

各地域の特色を活かした事例を紹介

2020年東京オリンピック・パラリンピックを活用した地域活性化推進首長連合との連携によるフォーラムが、2017年に続いて開催された。

冒頭では同連合事務局の布川氏が、「都道府県境を越えて各地の魅力を発信していきたい」などと挨拶。その後、7市町の担当者が各地域の取り組みについて説明した。茶原氏は「近畿を面として売っていきたい」と話し、小笠原氏は「多様なバリエーションでとびしま海道を売りたい」などと語った。米澤氏は「冬の情景や消防放水も観光コンテンツとして発信した」などを説明し、犬塚氏は「宿泊客増に向け取り組む」と決意を語った。石黒氏は「国内外でプロモーションを行っている」と現状を話し、藤原氏は「軍港というアイデンティティを大切にしている」と観光開発のコツに言及した。浅沼氏は「竹島水族館を中心に素材開発に努めている」などと解説した。

プレゼンテーション後には、参加者が各担当者らと情報交換を行った。

挨拶：布川 岳史氏（2020年東京オリンピック・パラリンピックを活用した地域活性化推進首長連合 事務局）

登壇者：和歌山県高野町／広島県呉市／富山県南砺市／福岡県柳川市／神奈川県湯河原町／京都府舞鶴市／愛知県蒲郡市



布川 岳史氏



和歌山県高野町
茶原 敏輝氏



広島県呉市
小笠原 徹也氏



富山県南砺市
米澤 正好氏



福岡県柳川市
犬塚 将徳氏



神奈川県湯河原町
石黒 英亀氏



京都府舞鶴市
藤原 清人氏



愛知県蒲郡市
浅沼 陸氏



第4回 「ジャパン・ツーリズム・アワード」



9月20日(木) 9:45~10:25

東京ビッグサイト西展示棟 3ホール

主催：公益社団法人 日本観光振興協会

一般社団法人 日本旅行業協会

日本政府観光局 (JNTO)

協賛・副賞提供：株式会社ジェーシービー



一般社団法人雪国観光圏

「『100年後も雪国の風景を見たい』という思いで10年間続けてきた。日本には観光素材がたくさんあり、強い思いで取り組みればもっと豊かな国になるはず」とコメント

大賞は雪国観光圏の「真白き世界に隠された知恵に出会う」 7市町村にまたがる地域連携がもたらした地元の意識改革を高く評価

第4回となる今年は、2017年の239件を上回る261件の応募があり、雪国観光圏の「地域連携DMOによる新たなブランドづくり『真白き世界に隠された知恵に出会う』」が大賞を受賞した。日本版DMOの先駆的な取組として、雪国のブランド化を7市町村の連携で進めたことや、地域の暮らしや文化で新たな価値を創造したこと、明確なターゲット設定や商品開発、品質管理の徹底などが高く評価された。

優秀賞には(株)旅籠屋の「日本で唯一のMOTELチェーン『ファミリーロッジ旅籠屋』」の全国展開による、車社会のインフラ整備と新

しい旅行スタイルの提案」と、(株)陣屋コネクトの「陣屋コネクトの活用による旅館改革への挑戦」、(株)JTBの「ホノルルフェスティバル」の3団体が選ばれた。また、エクセレントパートナー賞にはタイ国政府観光庁の「タイ12の秘宝 (12 Hidden Gems)」が選ばれた。そして今回は、DMO推進特別賞、ICT活用特別賞、UNWTO倫理特別賞の3つの特別賞が設けられ、計11団体が受賞した。

審査委員長の本保芳明氏は「261件はどれも内容が粒ぞろいで、さまざまな分野での取組が目立った。日本の観光が前進していると実感できる」などと講評した。



大賞
Grand Prize

国内・訪日領域／地域部門

●一般社団法人雪国観光圏

地域連携DMOによる新たなブランドづくり「真白き世界に隠された知恵に出会う」



UNWTO倫理特別賞

The Japan Tourism Award for Responsible Tourism in collaboration with UNWTO

国内・訪日領域

地域部門

●佐賀嬉野バリアフリーツアーズセンター
高齢者・障がい者・外国人などを含むすべての人をおもてなしするバリアフリー観光の取り組み

●合同会社ルーツ&フルーツ

「富士山ネイチャーツアーズ」
富士山の知られざる魅力に出会う自然旅行「富士下山」

●株式会社ビッキオ

軽井沢の自然を未来に残すエコツーリズムの実践

ビジネス部門

●株式会社JTB 熊本支店

伝える 学びのプログラム (熊本版)

●クラブツーリズム株式会社

クラブツーリズムのトラベルサポーター制度

海外領域

ビジネス部門

●株式会社エイチ・アイ・エス ユニバーサルツーリズムデスク

【車椅子・杖で行く旅】みんなでチャレンジ！ バリアフリー・ホノルルマラソン&10K ラン&ウォーク 6日間



優秀賞
Awards for Excellence

国内・訪日領域／ビジネス部門

●株式会社 旅籠屋

日本初で唯一のMOTELチェーン「ファミリーロッジ旅籠屋」の全国展開による、車社会のインフラ整備と新しい旅行スタイルの提案

●株式会社陣屋コネクト

陣屋コネクトの活用による旅館改革への挑戦

海外領域／ビジネス部門

●株式会社JTB

ホノルルフェスティバル



エクセレントパートナー賞
Excellent partners prize

海外領域／地域部門

●タイ国政府観光庁

タイ12の秘宝 (12 Hidden Gems)



DMO推進特別賞

DMO utilization special award

DMO推進特別賞／国内・訪日領域
地域部門

●一般社団法人

秩父地域おもてなし観光公社

日本版地域連携DMO

●一般社団法人

ハケ岳ツーリズムマネジメント

日本版DMOの先に見える観光地域づくり



ICT活用特別賞

ICT promotion special award

ICT活用特別賞／国内・訪日領域
ビジネス部門

●日本航空株式会社

「どこかにマイル」

●京浜急行電鉄株式会社

多機能翻訳アプリ「駅コンシェル」による外国人のお客さまへのおもてなし強化

メディア部門

●株式会社ジープラスメディア(フジサンケイグループ)

GaijinPot Travel



株式会社旅籠屋



株式会社陣屋コネクト



株式会社JTB



タイ国政府観光庁



京浜急行電鉄株式会社



株式会社ビックオ

**国内・訪日領域** ※応募受付順**ビジネス部門**

ハウステンボス株式会社 ICT、IoTを活用したスマートホテルの取り組み／株式会社いただきますカンパニー 畑ガイドと行く 農場ピクニック／アートミックスジャパン実行委員会 アート・ミックス・ジャパン 2019／くまの体験企画 熊野古道伊勢路をつなぎ広げるエコツーリズム／有限会社 兵吉屋 海女小屋はちまんかまど「海女小屋体験が国内外の観光客を呼び込む」持続可能な地域活性化に向けた取り組み／株式会社Seabird IT×自転車イベントで新たな地域振興を実現した「CYCLOG（シクログ）」／富士山登山学校ごうりき 富士山における少人数の高付加価値エコツアー／有限会社ワックジャパン 日本文化としての折紙のプログラム化と、難病支援のための折紙作品の商品化／沖縄ツーリスト株式会社 沖縄中文音楽バス／秋田内陸縦貫鉄道株式会社 ごつお玉手箱列車の運行による地域の魅力発信／ゆっくりずむ北海道 「美味しく・楽しく・感じる・地域を繋ぐエコツアー」／株式会社一の湯 箱根温泉と文化財・農業などを組み合わせた観光体験サービスの提供／株式会社トラベリエンズ TripleLights／株式会社梅守本店 エンターテインメント感動寿司体験から始まる訪日海外観光客の誘客とユニバーサルデザインのおもてなしを世界発信する取り組み／御坊日高博覧会実行委員会 御坊日高博覧会／株式会社はとバス 2階建てオープンバス「オー・ソラ・ミオ」を活用した多面的な観光誘致の取り組み／株式会社日本旅行 赤い風船 観光列車「ながまれ海峡号」に乗ろう／東日本旅客鉄道株式会社 トランスイート四季島 その季節ならではの句を楽しむ「東日本の句」コース

地域部門

浜松フィルムコミッション 撮影支援件数が3年で約2倍、撮影日数は3年連続200日以上、浜松市役所フィルムコミッション推進室の軌跡／特定非営利活動法人 NAGOMI VISIT 世界中の旅人と食卓を囲むホームビジット／おたオープンファクトリー実行委員会 おたオープンファクトリー／一般社団法人 東北観光推進機構 フェニックス塾／海島遊民くらぶ（有限会社オズ） エコツーリズムによる地域連携と持続可能な離島・漁村観光の取り組み／沖縄県／一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（OCVB） 外国人観光客受入体制強化事業「ウェルカムちゅになろう受入啓発プロモーション」／南三陸町地域観光復興協議会 「南三陸てん店まっぶ」活用による地域経済再生と創造への取り組み／湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部 びわ湖里山の自然を大切に、環境保全活動と観光利用の笑湖（エコ）ツアーで地域振興／一般社団法人ONSEN・ガストロノミーツーリズム推進機構 ONSSEN・ガストロノミーツーリズムの全国展開／公益財団法人 福島県観光物産交流協会 福島だからこそできる学び「ホープツーリズム」／まいまい京都実行委員会 京都の住民がガイドする京都のミニツアー「まいまい京都」／スタービレッジ阿智誘客促進協議会 スタービレッジ阿智 日本一の星の村／琵琶湖疏水沿線魅力創造協議会 琵琶湖疏水通航67年ぶりの本格運航の開始と、疏水沿線観光活性化に係る取り組み／一般社団法人 相模海女文化運営協議会 海女文化をフックにした持続可能な地域づくり

メディア部門

LIVE JAPAN事務局 LIVE JAPAN PERFECT GUIDE／株式会社JTB パブリッシング 「るるぶ」ブランド活用によるソリューション事業「るるぶ特別編集版」の制作／株式会社TBSビジョン (株)TBS

ビジョン 日本遺産プロジェクト/日本遺産のブランド力強化のための映像制作事業／Kafuu Resort Fuchaku CONDO・HOTEL 性的マイノリティーの方たちも過ごしやすい・働きやすい街づくり／株式会社JTB 総合研究所 大学生観光まちづくりコンテスト／全日本空輸株式会社 IS JAPAN COOL? DOU／読売新聞社 読売新聞日曜版「名言巡礼」

海外領域 ※応募受付順**ビジネス部門**

株式会社ツアー・ウェブ 地方空港からの国際チャーター便の取組／株式会社エイチ・アイ・エス 全く新しいマーケットへの挑戦 ハッジ（大巡礼）＆ウムラ（小巡礼）

地域部門

ブランドUSA 多様なアメリカ旅行商品造成に向けた取り組み／インドネシア共和国観光省 日伊合作映画「海を駆ける」制作サポートと「ジャカルタマラソン」実施による継続的プロモーションへの展開／株式会社JTB 個人事業本部 海外仕入商品事業部 アメリカ・オセアニア部 ～お客様の声から生まれて丸9年～ 旅先での現地在住アドバイザーとの街歩きで実現した「文化交流」！「おはよう」「ようこそ」「こんばんは」シリーズ／株式会社ミキ・ツーリストFIT企画開発部 個人旅行者の「こんな旅が欲しかった」に向けた欧州現地発着1泊2日からの短い旅 [みゆう] プチ旅／スウェーデン大使館 スウェーデン大使館内に観光窓口「スウェーデン観光文化センター」を設立しツーリズムの普及・促進を目指す

メディア部門

日本放送協会 2度目の旅シリーズ～ちょっとディープな海外旅行～

**【審査委員長】**

本保芳明 国連世界観光機関（UNWTO）駐日事務所代表
首都大学東京 客員教授

【審査委員】

Adam Fulford Fulford Enterprise CEO
石原義郎 株式会社航空新聞社 取締役編集長
太下義之 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
芸術・文化政策センター長
久保成人 公益社団法人 日本観光振興協会理事長※主催者
清野 智 日本政府観光局（JNTO）理事長※主催者

関口和一 株式会社日本経済新聞社 編集委員
高田佳幸 株式会社日本政策投資銀行 地域企画部長
田川博己 一般社団法人 日本旅行業協会 会長※主催者
浜野 京 内閣府 政策参与（クールジャパン戦略担当）
藤井真也 日本貿易振興機構（ジェトロ）サービス産業部長
森下晶美 東洋大学 国際観光学部国際観光学科教授
涌井雅之 東京都市大学 特別教授

WELCOME RECEPTION

9月20日(木) 18:30~20:00 東京ビッグサイト 西展示棟3ホール／来場者数：約 3,200名



【登壇者】

ご来賓：石井啓一氏(国土交通大臣)／あきもと司氏(国土交通副大臣)／田端浩氏(国土交通省 観光庁長官)／二階俊博氏(衆議院議員 自由民主党幹事長)／林幹雄氏(衆議院議員 自由民主党幹事長代理)／とかしきなおみ氏(環境副大臣)／チミー・ペム氏(ブータン政府観光局 ディレクター)／タオン・コン氏(カンボジア王国 観光大臣)／コンボ共和国／ツェレンバト・ナムスライ氏(モンゴル国 環境・観光大臣)／オウン・マウン氏(ミャンマー連邦共和国 ホテル観光省大臣)／ベルナデット・ロムロ・プヤット氏(フィリピン共和国 観光大臣)／ランジット・アルウィハール氏(スリランカ民主社会主義共和国 観光開発・キリスト教副大臣)／ウィーラサック・コースラット氏(タイ王国 観光・スポーツ大臣)／杉山宏彦氏(株式会社ジェーシービー ブランドマーケティング部長)／比良竜虎氏(ホテルマネジメントインターナショナル株式会社 代表取締役社長)／藤田直志氏(日本航空株式会社 代表取締役副社長 執行役員)／志岐隆史氏(全日本空輸株式会社 代表取締役 副社長 執行役員)／スラブ・ボロリカシュヴィリ氏(国連世界観光機関〔UNWTO〕事務局長)／グロリア・ゲバラ・マンゾ氏(世界旅行ツーリズム協議会 理事長 兼 CEO)／マリオ・ハーディ氏(太平洋アジア観光協会 CEO)／シヤノン・ストーウェル氏(アドベンチャートラベル・トレード・アソシエーション CEO)

主催者：田川博己(一般社団法人 日本旅行業協会 会長)／久保成人(公益社団法人 日本観光振興協会 理事長)／清野智(日本政府観光局 理事長)

観光大国へ邁進する日本と世界の関係者が交流

TEJ2018に参加した関係者、VJTMバイヤーが一堂に会したWELCOME RECEPTIONでは日本文化の体験やステージ演目をお楽しみいただくとともに、参加者間の交流が行われ、有意義な時間となった。

冒頭ではJNTOの清野智理事長が今夏の地震と豪雨災害に触れ、「海外からお越しの皆様には、地域の復旧にかかるパワーと魅力を感じていただき、それを持ち帰って多くの方々とシェアしていただきたい」と呼びかけた。

来賓として挨拶した石井啓一国土交通大臣は、「国際観光交流には、国・地域における経済の活性化だけでなく、相互理解の促進や外国人目線による地域の魅力再発見という重要な意味がある」とし、TEJ2018への期待を語った。

全国旅行業協会(ANTA) 会長を務める自民党の二階俊博幹事長も「3000人もの関係者が集い、議論を交わせることは、観光の進展を実感させる。こういう時に、関係者が力を合わせて前に進むことが大事」と挨拶した。

また、「WELCOME RECEPTION」にメッセージを寄せた菅義偉内閣官房長官は、観光が「国際交流を促進し、外国への理解を深めてくれると同時に、『地方創生の柱』

『成長戦略の切り札』として重要であることを強調した。

乾杯の音頭をとったフィリピンのベルナデット・ロムロ・プヤット観光大臣は、「人々がかつてツーリズム産業に抱いたイメージは大きく変わっており、その力に注目が集まっている」と語った。



日本政府観光局(JNTO) 理事長 清野智



国土交通大臣 石井啓一氏



自由民主党幹事長 二階俊博氏

フィリピン共和国 観光大臣
ベルナデット・ロムロ・プヤット氏

商 談 会

9月20日(木) 12:00~18:00 9月21日(金) 10:00~18:00 東京ビッグサイト東展示棟 1~6ホール 各出展ブース／商談件数：7,450件

2日間の事前アポイントメントで展示ブース商談を実施し、商談件数は8%増
マッチングシステムで効率の良い商談を実現

主に日本の旅行会社と国内外のセラーが商談を交わし、旅行商品の造成や情報交換を促進することを目的とした商談会を、9月20日(木)と9月21日(金)に実施した。商談件数は前年から8%増の7450件となった。

今年はセラーとバイヤーが一堂に会して商談を行うのではなく、展示ホールの出展ブース内で商談を行うスタイルに。そのため出展者は、この2日間はブース内に商談用のテーブルを多く並べるなど、商談会仕様にアレンジしてセラーやバイヤーを迎えた。

国内のブースでは、観光スポットの認知度を上げるためタ

レット端末やパンフレットで観光素材の紹介を行う出展者や、どのように旅行商品に組み込めるかという具体的な商談をする出展者も多く見られた。海外のブースでは、TEJのために来日した現地サプライヤーの担当者などが、日本の旅行会社の担当者らと直接会って情報交換を行うなど、セラーもバイヤーも今後のビジネスに役立てようとする姿が目立った。

アポイントメントは、刷新されたTEJマッチングシステムによって設定され、効率よく商談を行える環境を提供。また、会場には商談の窓口を設け、商談会に関する質問を受け付けるスタッフも会場を巡回するなど、サポートにも力を入れた。



商談会2018年の特徴

- ① 展示ブースでの2日間の事前アポイントメント制商談会の実施
- ② システム刷新によるマッチング精度の向上と、商談前後のコミュニケーションをサポートする機能の提供
- ③ 出展者同士でもアポイントメント商談ができるシステム環境の提供
- ④ メディア商談とインバウンド・観光ビジネス総合展においても事前アポイントメント制を導入
- ⑤ 商談会バイヤーが利用できる「ラウンジ」の設置
- ⑥ WELCOME RECEPTION参加によるネットワーク拡大



実施商談会

セラー:

ツーリズムEXPOジャパン2018
出展者
インバウンド・観光ビジネス総合展
2018出展者

バイヤー:

旅行会社（主催団体会員企業）
メディア（記者、編集者を中心とした
メディア各社）
ツーリズムEXPOジャパン2018出展者
（バイヤー行為を希望する者）



VJTM2018連携プログラム —— VJTMバイヤー向けセミナー／展示内覧ツアー

バイヤーが展示会を内覧、4テーマでセミナーも開催

「VISIT JAPAN トラベル&MICEマート (VJTM) 2018」に参加した海外からのバイヤーらが9月21日（金）、ツーリズムEXPOジャパンの展示会場の内覧ツアーを行った。日本エリアやインバウンド・観光ビジネス総合展エリアを中心に午前・午後各5班に分かれての実施となった。

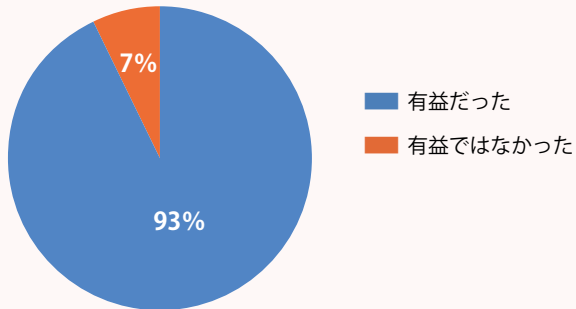
また内覧と同時に、日本観光振興協会主管のバイヤー向けセミナーも開催。午前中は酒蔵ツーリズムと熊本県観光、午後は産業観光と東北観光についてセミナーが行われた。セミナー参加のバイヤーは、セミナー終了後登壇者と名刺を交換し、具体的な商品造成のヒントや観光素材の詳細についてについてレクチャーを受けた。



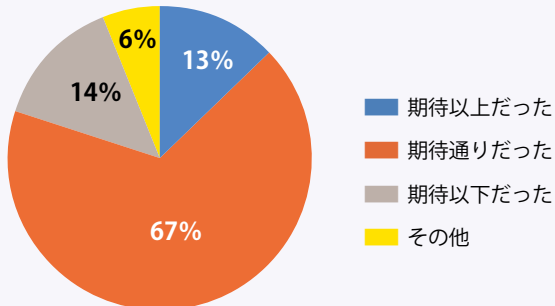
商談会参加者アンケート

セラーアンケート結果

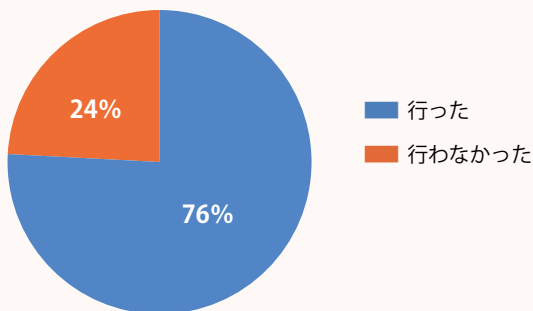
1. 商談会は有益でしたか



2. 期待していた内容の商談ができましたか

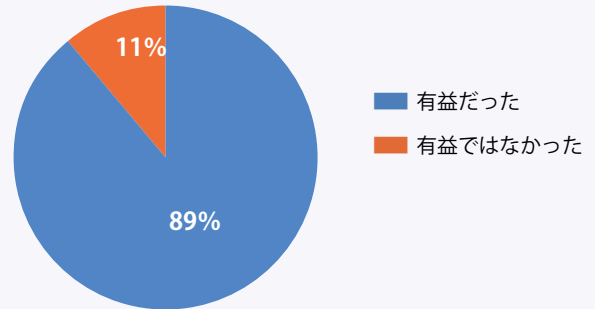


3. 事前マッチング以外の商談を行いましたか

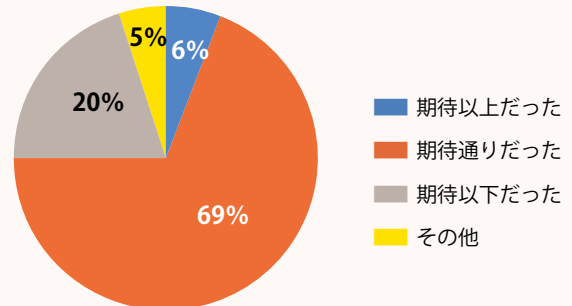


バイヤーアンケート結果

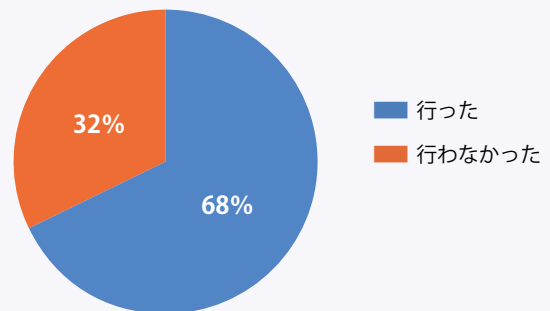
1. 商談会は有益でしたか



2. 期待していた内容の商談ができましたか



3. 事前マッチング以外の商談を行いましたか



セラーコメント

商談会について

●良かった点

- ・事前登録の内容が詳細であったため先方のニーズがつかみやすく、商談リクエストをあげやすかった。
- ・企画を行う旅行会社担当者と直接商談ができた。今後の事業の参考になった。
- ・普段は商談することのない事業者様と商談ができたことは非常に有意義だった。

●課題点

- ・普段会えない地方のバイヤーとのアポイントメントが、マッチングシステムですでに埋まってしまったため、とれないケースがあった。
- ・業者日にも大音量でステージイベントを開催している出展者がおり、商談しにくい環境であった。

展示会場での商談について

●良かった点

- ・エリアごとに絞って素材集めをしているバイヤーが多かったため、近いエリアのことも紹介できた。
- ・ブースで商談ができたため、スペース・時間のどちらも有意義に使えた。
- ・先方から訪ねていただく分だけ、向こうの関心の高さが感じられてよかった。

●課題点

- ・自ブースであれば、いろいろなツールを使って説明しやすい利点もあるが、商談をするには騒々しい感じがした。一方、共有スペースだと、説明するのにブースのために持ってきたツールを使いにくい部分もあると思う。

バイヤーコメント

商談会について

●良かった点

- ・あらかじめ商談相手がわかっているので、スムーズに商談できた。
- ・なかなか知り得ない現地の情報や、人々とつながることができた。

●課題点

- ・マッチングシステムの使い方がよくわからない。
- ・商談先によっては、ニーズが合わないと感じるケースが散見された。

展示会場での商談について

●良かった点

- ・対面で情報収集することにより、販売力が持てた。
- ・こちらから商談に行けたので、余った時間やアポとアポの間の時間を利用して、アポのないブースの方とも名刺交換して話げできた。
- ・相手だけでなく、周囲のブースの雰囲気も見ることができた。

●課題点

- ・ショータイム等に重なると、うるさくて会話がしづらい。
- ・ブースからブースへの移動が遠く、大変だった。

展 示 会

旅（ツーリズム）の「新しいカタチ」を提案！

開催5年目となった2018年は、イベントテーマである「旅（ツーリズム）」の『新しいカタチ』を訴求するため、テーマ別観光や産業観光、日本酒蔵ツーリズム、日本版DMO集合エリア、大学・専門学校アカデミーエリアなど、さまざまな切り口から観光産業活性化の施策に挑戦。また、各出展ブースでも体験型コンテンツを強化するなど、より進化を遂げた展示会となった。

主催者企画

リゾートウェディング



スポーツ・アドベンチャーツーリズム



留学



アドベンチャーツーリズム



クルーズ



日本酒蔵ツーリズム



産業観光エリア



日本版DMO集合エリア



大学・専門学校アカデミーエリア



主催者企画

旅のチカラで日本をもっと元気にしよう!!



**観光で
西日本を元気に!**



**第4回
ジャパン・ツーリズム・アワード
受賞取組紹介**



**第66回
日本観光ポスターコンクール**



**JATAツーリズム・チャリティー
2018**



**Meet the World
(ミート・ザ・ワールド)**



全国ロケ地マップフェア 2018



ユニバーサルツーリズム



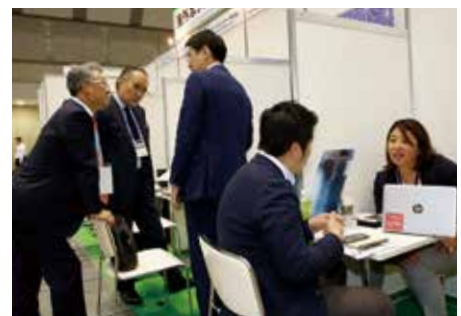
外務省 領事局



旅の広場



海外ホテルコーナー

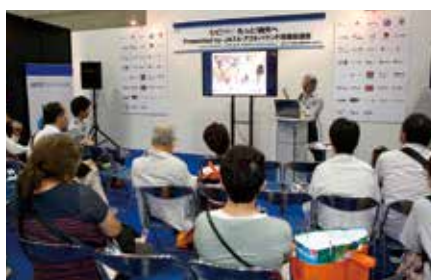


もっ! 海外へ

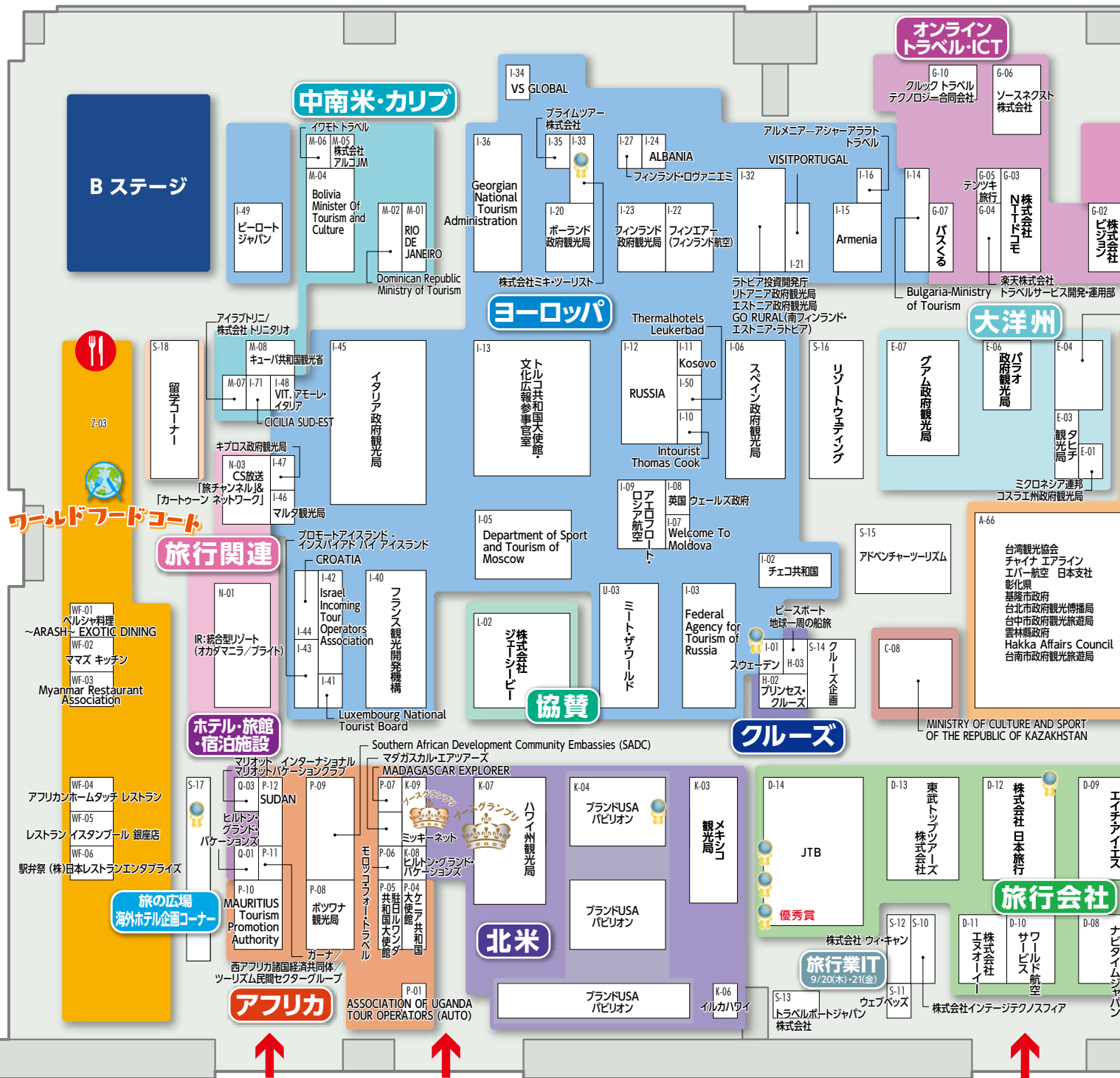
JATA・アウトバウンド促進協議会 (JOTC)

JATA・アウトバウンド促進協議会 (JOTC) では、9月22日(土)・23日(日)の両日、海外旅行をもっと楽しみたい方のための「海外教養講座」を開催。台湾、アメリカ大陸、ヨーロッパの「世界の美しい風景90選」を紹介するなど、海外旅行の魅力を発信した。

また、第三回フォトコンテストの表彰式が行われ、ユーラシア旅行社の黒木信子さんが最優秀賞に輝いた。



展示会 [会場マップ 東展示棟 1・2・3 ホール]



東3ホール

東2

旅のチカラで
日本をもっと
元気にしよう!!

ブースグランプリ

ブースグランプリは、全出展者を対象に、来場者・関係者・出展者による投票で優秀なブースを選出する表彰プログラムです。ブースのデザインの独自性、コンテンツの質、演出の魅力、スタッフの接客などを評価基準としています。

今年のブースグランプリ受賞者は、業界日に商談がスムーズに効率よく行われるブースデザイン・レイアウトの環境作り、一般日には体験型の企画で来場者にアピールし満足度が高く印象に残ったブースが選出されました。

グランプリ

準グランプリ

特別賞

グランプリ



韓国観光公社

準グランプリ



ハワイ州観光局



23



準グランプリ



24 ワンダフル セトウチ
DISCOVER WEST 連携協議会

準グランプリ



一般財団法人
沖縄観光コンベンションビューロー



環境省 自然環境局 国立公園課
国立公園利用推進室



文化庁 (日本遺産)



ジャパン・ツーリズム・アワード受賞団体(詳細はp.14, 15へ)



飲食コーナー



ファミリー休憩コーナー

9/20-21 (木)(金) **インバウンド・観光ビジネス総合展**

9/22-23 (土)(日) **ご当地グルメマーケット オートキャンプ展示 ファミリー休憩コーナー**

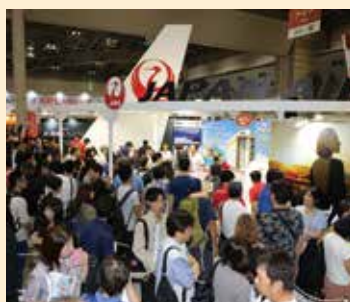


ポスターコンクール
ホール

東6ホール



全日本空輸株式会社



日本航空株式会社



成田国際空港株式会社



東日本旅客鉄道株式会社



インバウンド・観光ビジネス総合展

9月20日(木)～21日(金)
東京ビッグサイト 東6ホール
主催：ツーリズムEXPOジャパン、日本経済新聞社

来場者：約13,500名 9月20日(木) 約7,000名
9月21日(金) 約6,500名

訪日観光ビジネスを支える技術やサービスが一堂に 個性的な土産物開発業者が初参加

ツーリズムEXPOジャパンと日本経済新聞社による共催のB to B展「インバウンド・観光ビジネス総合展」が9月20日(木)、21日(金)の2日間にわたって開催された。

これはツーリズムEXPOジャパン2018のフェア in フェアとして行われたもので、今年で2回目。訪日観光ビジネスを支援するマーケティング、多言語・ICTソリューション、映像・ウェブコンテンツ、関連機器・インフラ支援、人材支援、物販・体験企画など、88の企業や団体が出展した。

多言語サービスや翻訳ツール、自動両替機、サイネージなどインバウンドビジネスに欠かせないサービスやツールがずらりと展示されるなか、今年目についたのは外国人旅行者向けの

お土産品だ。スイーツやお米、キーホルダーやお面といった日本らしい商品が並んでいたのが印象的。インバウンドや観光ビジネスに土産物開発は必要不可欠であり、21日(金)には「中国人にもっと売るための土産物開発法」といったセミナーも行われた。

セミナーは昨年に引き続きインバウンドベンチャー会による「インバウンドベンチャー最前線!」が2部構成で行われたほか、キャッシュレスやアプリ、ゴルフツーリズムをテーマにした各種セミナーも開催された。なお、2019年10月24日(木)、25日(金)には、大阪で初の「インバウンド・観光ビジネス総合展2019」の開催が決定している。

PICK UP! 会場内セミナー「2020年に向けて!インバウンド最新動向からみるチャンスと課題」



【登壇者】
村山慶輔氏〔株)やまどころ 代表取締役〕

2020年のチャンスでより飛躍する日本のインバウンド

開催初日の20日(木)、インバウンド・観光ビジネス総合展の企画セミナーとして、株式会社やまどころ代表取締役の村山慶輔氏による「2020年に向けて!インバウンド最新動向からみるチャンスと課題」が行われた。朝一番にもかかわらず大勢の立ち見が出る盛況ぶりは、開催まで2年を切った東京オリンピック・パラリンピックに向けたインバウンドへの関心の高さがうかがえる。

今やトレンドとなったインバウンドは、2020年後も確実に成長し続けると断言する村山氏は、しかし「2020年は最大のチャンスであり、どこでビジネスのギアを入れるかと言えば今しかない」と話す。そのために必要なことは、新しい商品を作っていくこと。オーバーツーリズムが問題になる都市もある一方で、売り物がない都市やエリアも多い。あるものを公開・開放したり、付加価値を

付けて単価を上げたり、また売れていない時間や曜日をプロモーションするといった具体例が示された。スポーツやアニメといったテーマ別商品の開発にも余地があり、そうした意味で日本はまだ空き地だらけの状態という。

課題としては、日本ファンではない旅行者にも高い満足度を提供していくこと、外国からの人材確保とその人材に対する適切な評価、情報発信に偏りがちな各地方自治体の予算配分などが挙げられた。また経営者や国民のインバウンドに対する鎖国的な意識をよりオープンにしていける必要もあり、課題は多い。しかし現在進行形で伸び続ける日本のインバウンドは世界の関心も高く、2020年以降、日本は急速にインバウンドを拡大させたモデル国として脚光を浴びる確信もあると締めくくった。

内覧風景



国土交通大臣政務官
築和生氏



内閣府 特命担当大臣
福井照氏



総務副大臣 兼 内閣府副大臣
坂井学氏



環境副大臣
とかしきなおみ氏



環境大臣政務官
笹川博義氏



衆議院議員
逢沢一郎氏



衆議院議員
富田茂之氏



衆議院議員
渡辺博道氏 (写真左)



衆議院議員
門博文氏



衆議院議員
武井俊輔氏



参議院議員
朝日健太郎氏



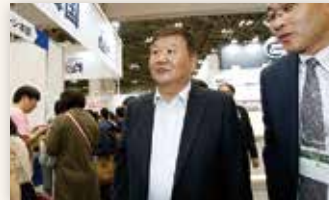
衆議院議員
小宮山泰子氏



東京都知事
小池百合子氏



愛知県知事
大村秀章氏



韓国文化体育観光部 次官
盧泰勲氏



株式会社ジェーシービー
代表取締役兼 執行役員社長
浜川一郎氏

表敬訪問



アイランド観光産業イノベーション大臣
ソルディス・コルブルン・レイクフォード
ギルバド・ティル氏



グアム政府観光局 CEO
ミルトン・モリナガ氏



英国・北ウェールズ観光局
取締役
ジム・ジョーンズ氏



フィリピン 観光大臣
ベルナデット・ロムロ・ブヤット氏



キプロス政府観光局 会長
アンゲロス・ロイソウ氏



タイ国政府観光庁 副総裁
サンティ・チュディントラ氏



モンゴル 環境・観光大臣
ツェレンバト・ナムスライ氏



エジプト政府観光局 局長
アフメド・ユセフ氏



スリランカ
観光開発・キリスト教副大臣
ランジット・アルウィハハラ氏



香港政府観光局 理事長
アンソニー・ラウ氏



マレーシア 観光芸術文化大臣
モハマディン・クタビ氏



スーダン 観光、古代および野生
動物省 副大臣
グラハム・アブド・ガーデル・ダミン氏



ラトビア
経済省 副大臣
エーリクス・エグリーティス氏



メキシコ 観光大臣
エンリケ・デラモドリー
コルデーロ氏



トルコ大使館・文化広報参事官
デフネ・オスアール氏
トルコ イズミール商工会議所 ツーリズム
マネージャー ミネ・ギュムシュ・カヤ氏



バングラデシュ航空・観光省
副次官
エム・ディ・エムラン氏



モンゴル旅行業協会 会長
ドルゴルステン・ダグワドルジ氏



中国文化・旅游部 巡視員
張西龍氏



カリブ共同体 (カリコム)
加盟11カ国・地域の代表団



ラスベガス観光局
ボードメンバー ミッセル・フィオーレ氏
シニアディレクター ラファエル・ピラヌエバ氏



ジャマイカ 観光大臣
エドモント・バートレット氏



ソウル観光財団 代表理事
李在成氏



大阪府、大阪市
TEJ2019開催地連絡協議会の代表団

2018 展示会



【モデレーター】
株式会社日本総合研究所 リサーチ・コンサル
ティング部門 上席主任研究員 近藤修申氏

【パネリスト】
株式会社JMC(JTBメディアクリエーション)
執行役員 企画戦略部長 長谷川 剛氏
ソースネクスト株式会社 取締役 専務執行役員
小嶋智彰氏
日本郵便株式会社 東京中央郵便局 窓口営業部 副部長
井上浩昌氏
株式会社みらい翻訳 COO 古谷利昭氏
株式会社ログバー 代表取締役兼CEO 吉田卓郎氏

“プロ”を目指す観光業界関係者向けプログラム ツーリズム・プロフェッショナル・セミナー

業界関係者が、これまでの経験値に「深み」「厚み」「幅」を加え、一流のプロフェッショナルの登竜門となるべく企画されたセミナーは、今年も観光業界のさまざまな視点から必見・必聴のコンテンツを集めて展開された。

各セミナールームには、ビジネスに役立つ情報を求めてたくさんの方々が集い、国内外のプロによる講義を熱心に聴講した。

ツーリズム・プロフェッショナル・セミナータイムテーブル

9 / 20 (木)

会場 時間	Bステージ	セミナールーム1	セミナールーム2	セミナールーム4	セミナールーム5	セミナールーム7	セミナールーム9
11:00						11:00-12:00 国内外教育旅行について 学校・保護者への対応ポイント ※バイヤー専用セミナー	
12:00	12:30-14:00	12:30-14:00	12:30-14:00	12:30-14:00	12:30-14:00		12:30-14:00
13:00	せとうちDMOが実践する 世界標準のインバウンド・ マーケティング	マレーシア デスティネーション セミナー	しらべろ! よびこむ! もてなす! そなえる! 地域観光活性化とインバウンド受 入対策、ソーシャルビッグデータ 活用からリスクマネジメントまで	無限の可能性が広がるリオ: 感性的なブラジルのエントラ ンス	「日本遺産」その魅力と活用 今後の事業展望を探る	13:00-18:00	JATA中国四支部 幹事会 旅行業公正取引協議会 幹事会 ※関係者のみ
14:00		14:30-16:00	14:30-16:00	14:30-16:00	14:30-16:00	アカデミーエリア 出展大学セミナー	14:30-16:00
15:00		「知る」から「来る」までを データで描く せとうちDMOから見えてき たデスティネーションマーケ ティング	旅行業法制度に関する セミナー	中央アジア デスティネーションセミナー ウズベキスタン・トルクメニ スタン・タジキスタン	訪日教育旅行について 訪日教育旅行を 拡大するための具体策		JNTOが進める デジタルマーケティング について
16:00	16:30-18:00	16:30-18:00	16:30-18:00		16:30-18:00		16:30-18:00
17:00	①ツアーコンダクター・オブ・ ザ・イヤー2018表彰式 ②ベテラン添乗員が語る! より良い旅行のために	旅行情報誌「るるぶ」 ブランド活用による 地域ソリューション事例のご紹介	航空関連データから見る インバウンドトラベル 現状の問題点と日本における 今後の課題		貸切バスの運賃料金 制度等についてのセミナー		「アニメ」と「地域」が手を組 んでの「インバウンド施策」 及び「地域活性化」について
18:00							

9 / 21 (金)

会場 時間	Bステージ	セミナールーム1	セミナールーム2	セミナールーム3	セミナールーム4	セミナールーム5	セミナールーム7
10:30-12:00	10:30-12:00	10:30-12:00			10:30-12:00	10:30-12:00	10:30-14:30
11:00	グローバルコミュニケーション シンポジウム 2018 進化する多言語コミュニケー ション技術とビジネスへの展開	2020年新卒採用対策 セミナー 旅行・観光業界 最新就職・ 採用事情			三歩五眼の新しい眼で見る 「三国志の史跡を巡る旅」	新しい旅のスタイル 農泊のススメ	
12:00	12:30-14:00		12:30-14:00		12:30-14:00	12:30-14:00	アカデミーエリア 出展大学セミナー
13:00	海外卒業旅行企画 コンテスト2018		航空関連データから見る インバウンドトラベル 課題克服のための ソリューション		韓国観光新素材をご紹介します	「インバウンドビジネスを安全に 開拓していくために」 海外企業に対する与信管理 及び不払い事故の対応策	
14:00	14:30-16:00	14:30-16:00	14:30-18:00	14:30-16:00	14:30-16:00	14:30-16:00	15:00-16:00
15:00	大学生 観光まちづくりコンテスト 2018 成果発表会	クレーム対応基礎講座 クレームは怖くない	発掘!旅行屋たちの 「旅番組」制作会議 ※関係者のみ	インドネシア最新情報と旅 行会社様向けインセンティブ プログラム “Hot Deal Packages”のご案内	キューバ観光セミナー	ボーダーツーリズム×ICT活用 沖縄県と那国町の挑戦 日本発世界のボーダーの旅 中露国境トライアウト	ヨーロッパの美しい街道20選 「不思議の国ウェールズの 3本の絶景街道の魅力」
16:00		16:30-18:00			16:30-18:00	16:30-18:00	16:30-18:00
17:00	17:15-18:00 日本・香港観光 交流年のプログラム	フィルムコミッション活動と その活用について			南部アフリカの魅力	消費税の軽減税率制度に ついて	企業・自治体・住民・観光施設と 連携した、観光地プロモーションと ブランディング
18:00				18:00-19:00 JATA 関西支部 ※関係者のみ			
19:00							

P I C K U P !

グローバルコミュニケーションシンポジウム 2018

～進化する多言語コミュニケーション技術とビジネスへの展開～
9月21日(金) 10:30～12:00 Bステージ

サーバー開放で民間企業参入を促進

総務省グローバルコミュニケーション計画のもと、NICTを中心に多言語音声翻訳システムの研究開発と実証実験が進んでいる。グローバルコミュニケーション開発推進協議会 須藤修会長からの「誰もが知っている当たり前前のサービスにしていこう」との挨拶に続き、総務副大臣 坂井学氏は「災害現場でももっと活用されるべき」と指摘。NICT 木俣豊氏は「最重要10言語の精度を上げていく」という。

総務省高村信氏はサンドボックスサーバーの開放によりオープンイノベーションを促進させたいと語り、パネルディスカッションではNICTの音声翻訳技術を応用した「ポテトク」小嶋氏、「イリイ」吉田氏、ユーザー代表としてJMC長谷川氏、日本郵便 井上氏がデバイスの特長や現場での活用方法を紹介。プラットフォーム開発担当のみらい翻訳 古谷氏は「接客業に対応できる専門性を高めることで差別化を図っていく」と語った。

●主催：グローバルコミュニケーション開発推進協議会

●共催：国立研究開発法人情報通信研究機構 (NICT) / ●後援：総務省

P I C K U P !

新しい旅のスタイル ～農泊のススメ～

9月21日(金) 10:30～12:00 セミナールーム5

農村に滞在して、体験する新しい旅のカタチを提案

農村に滞在して農業体験をしたり、地元の人々との交流を図る「農泊」は、これまで教育旅行での利用が多く、ビジネスとして考えると経営的に厳しい場合もあるのが現状だという。

そこで、平成29年3月28日に閣議決定された「観光立国推進基本計画」では、農山漁村滞在型旅行をビジネスとして実施できる体制を持った地域を2020年までに500地域とすることにより、「農泊」の推進による農山漁村の所得向上を実現するとしている。

北川氏は「農泊をビジネスとして実施できる体制を整備するには、農泊を持続可能な産業として、自立的な運営が図られる法人組織が担う体制の構築を支援した上で、魅力ある観光コンテンツの磨き上げへの支援、プロモーションの強化を行うことが必要」と述べ、政府としても農泊の取組を支援していく予定だ。

セミナーでは、Cool Japan Awardにも選ばれた、NPO法人おちかアイランドツーリズム協会(長崎県小値賀町)をはじめ、農泊プロセスの成功事例も紹介された。



【講師】

農林水産省 農村振興局 農村政策部 都市農村交流課 課長補佐
(グリーン・ツーリズム班担当)

北川愛二郎氏

9 / 21 (金)					会場
セミナールーム10	セミナールーム11	セミナールーム12	セミナールーム13	セミナー会場14・15	時間
				10:30-17:00	
				インバウンド・観光ビジネス 総合展 セミナープログラム	11:00
					12:00
					13:00
					14:00
					15:00
					16:00
					17:00
					18:00
16:30-18:00	16:30-18:00	16:30-18:00	16:30-18:00		
カリブ諸国11カ国の魅力紹介 デスティネーションセミナー& 来日観光関連団体トップリーダー とのネットワークング	ロングステイによる 交流人口・関係人口創出	双方向の交流拡大と若者の アウトバウンド活性化 千葉×マレーシア連携事業	奈良の古都「飛鳥」「平城 宮跡」観光セミナー		

セミナールーム8	セミナールーム9	セミナールーム10	セミナールーム11	セミナールーム12	セミナールーム13	セミナー会場14・15	会場
10:30-12:00			10:30-11:40				
ツーリズムプロデューサーが 市場をつくる 観光業界がもつめる マーケティング人材とは?			全国観光圏シンポジウム&セミナー 『第1部:全国13観光圏による インバウンド誘致の取組』				11:00
12:30-14:00	12:30-14:00						12:00
JATA関東支部 ※関係者のみ	パラオ・セールスセミナー		13:00-16:30				13:00
		13:30-15:00					14:00
14:30-16:00	14:30-15:30	DMOネット活用セミナー	全国観光圏 シンポジウム&セミナー 『第2部:世界水準の 日本版DMOの あるべき姿とは』	14:30-16:00	14:30-16:00		15:00
LADY JATA ※関係者のみ	欧米豪市場の特徴、 プロモーションのポイント	15:30-16:30		ロシア・デスティネーション セミナー モスクワ・ サンクトペテルブルグ&カザン	日本のナショナルパークを 旅して体験しよう! その自然には、物語がある Stories to Experience		16:00
		16:30-18:00		16:30-18:30	16:30-18:00		17:00
	アジア市場(タイ、マレーシア、 インドネシア)における インセンティブ旅行のトレンド	17:00-18:00		JATAインバウンドシンポジウム 文化庁、環境省の挑戦! COOLな日本の宝 日本遺産、国立公園で 観光先進国を目指す	モンゴル・観光セミナー		18:00
							19:00

小間内レセプション



ステージ



閉会式／グランドフィナーレ

2018年9月23日(日・祝) 16:30~17:00
東京ビッグサイト 東展示棟内 Aステージ

総来場者数は207,352人を記録し閉幕、 2019年はTEJ初となる大阪開催

5回目の今年は、136カ国・地域、47都道府県からの出展があり、4日間で計207,352人という2017年を上回る入場者数を記録した。会期中の商談件数も2017年を上回り、充実した観光見本市となった。

閉会式で挨拶に立った実行委員長の田川会長は、「体験を重視したコーナーを設けたので、旅の『新しいカタチ』を見つけていただけたと思う。また、観光は災害からの復興に寄与する。その地を訪れるのが何よりの応援」などと呼びかけた。2019年は大阪での開催となるため、「関西のらしさも加え、ラグビーW杯開催年、オリンピック・パラリンピック開催前年にふさわしいイベントにする」と約束した。

閉会式では「ブースグランプリ」表彰式も行われ、グランプリ1団体、準グランプリ3団体、特別賞1団体が選ばれた。ブースグランプリは、21日(金)・22日(土)の2日間、全出展者を対象に来場者、出展関係者の投票で選出。受賞者には記念の盾と賞状、副賞として2019年の出展ブースが贈られた。

最後には全国のご当地キャラクターも集合し、盛大なグランドフィナーレを執り行うとともに、2019年に大阪での再会を約束した。



※受賞者の写真紹介は、P22~24を参照。



登壇者

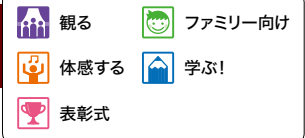


【閉会式】株式会社ジェーシービー 代表取締役兼執行役員社長 浜川一郎氏
一般社団法人 日本旅行業協会 会長 田川博己
公益社団法人 日本観光振興協会 理事長 久保成人
ブースグランプリ受賞者

【グランドフィナーレ】出展者(全国・各地のご当地キャラクターなど)

ステージスケジュール

各国・地域の個性溢れるパフォーマンスとイベントで観客を魅了



9月22日【土】	会場	東1 Aステージ	東3 Bステージ	東4 Japanステージ
	時間			
	10:00	10:30 - 11:30 チャギントンミニステージ チャギントンナビゲーター海老原アナによるチャギントンミニステージ/ワンダフルセトウチ	10:30 - 11:00 Mongolian Folk Concert モンゴル観光協会/ダンスと歌	10:30 - 11:00 空行け!九州キャンペーン (一社)九州観光推進機構/着ぐるみ・著名歌手
	11:00		11:15 - 11:45 台湾台東県 台湾台東県/打楽器・着ぐるみ	11:15 - 11:45 SAMURAI演舞 忍城おもてなし甲冑隊/演舞・PRトーク
	12:00	12:00 - 13:30 フィリピンミュージックライブ フィリピン/歌手ガウ	12:00 - 12:30 マリアッチ アガベ、メキシコの魂 マリアッチ アガベ メキシコ観光局/伝統楽団演奏	11:45 - 12:15 真田三代の星 信州上田 PR 信州上田おもてなし武将隊/上田商工会議所/演舞・PRトーク
	13:00	13:00 - 13:30 大蛇 江津市石見神楽連絡協議会	12:45 - 13:15 ワンダフル インドネシア パフォーマンス ワンダフル インドネシア チーム インドネシア/伝統舞踊	12:30 - 13:00 【はとバス】新感覚!東京エンターテイメントツアー 株式会社はとバス/PRムービー放映、PRトーク、ダンス、抽選会
	14:00	14:00 - 14:20 石田ニコルさんトークショー ハワイ州観光局/石田ニコル	13:30 - 14:00 貴州省舞踊団 中国駐東京観光代表処/楽器演奏、歌、舞踊	13:15 - 13:45 奈良の古部「飛鳥」「平城宮跡」 国営飛鳥・平城宮跡歴史公園/奈良県/スライドプレゼン
	15:00	15:00 - 15:30 楽しもう!見上げる空から行って見る宙まで☆ 宙ツーリズム推進協議会/ゲスト・トークショー	14:15 - 14:45 ボリビア 文化観光部 ボリビア/打楽器・笛・ギター・ダンス	14:00 - 14:30 縁を結ぶ出雲路へえにしのうた〜 島根県観光大使、しまねっこ、遠島使 Ray Yamada/神話の国縁結び観光協会/トーク・ダンス
	16:00	16:00 - 16:30 スリランカ伝統舞踊 Sri Lanka Tourism Promotion Bureau/伝統舞踊	15:00 - 16:00 ツアーグランプリ表彰式 主催者/表彰式	14:45 - 15:15 「名古屋おもてなし武将隊」徳川家康と服部半蔵忍者隊/演舞 名古屋おもてなし武将隊/徳川家康と服部半蔵忍者隊/愛知県/演舞
	17:00	17:00 - 17:30 ものまねタレント「みかん」とみきゃんによるえひめ・四国観光復興PR ものまねタレント「みかん」とみきゃんと四国のなかまたち 四国ツーリズム創造機構/著名ゲスト・トークショー	16:15 - 16:45 その音色は空気をパラダイスに変える! カリブ海最南端の国トリニダード&トバゴ「発祥『スティールパン』のオーケストラ演奏 バノラマスティールオーケストラ/打楽器・歌	15:30 - 16:00 あきたわんわん娘ステージパフォーマンス あきたわんわん娘/秋田県/ダンス
	18:00		16:45 - 17:15 ロシア/サハリンツーリストインフォメーションセンター ロシア/プレゼンテーション・フォークダンス・アンサンブル	16:15 - 16:45 盛岡さんさ踊り ミスさんさ踊り/岩手県・三陸防災復興プロジェクト2019実行委員会/演舞
			17:15 - 17:45 ミャンマー Ministry of Hotels and Tourism, Myanmar/内容未定	16:45 - 17:15 「HAPPYふくしま隊」PRステージ HAPPYふくしま隊/福島県/歌・踊り
				17:30 - 18:00 競艇吊るし切り/国指定重要無形民俗文化財 常陸大津の御船祭の御囃子 北茨城市観光協会(実演者:まるみつ旅館)/国指定重要無形民俗文化財常陸大津の御船祭保存会 北茨城市/伝統舞踊
9月23日【日】	会場	東1 Aステージ	東3 Bステージ	東4 Japanステージ
	時間			
	10:00	10:30 - 11:00 熊本県PRステージ くまモン隊/熊本県観光連盟/ダンス	10:30 - 11:00 Meet colors! Taiwan 台湾原住民族文化発展中心・娜麗灣樂舞劇團 台湾観光協会/民族舞踊	10:30 - 11:00 湯もみダンス 草津温泉/ダンス
	11:00	11:15 - 11:45 鹿児島県PRステージ 鹿児島県/キャラクター・歌	11:15 - 11:45 エジプト伝統舞踊ダンスショー エジプト伝統舞踊ダンサー エジプト政府観光局/伝統ダンスショー	11:15 - 11:45 滋賀県ご当地キャラクターによる観光PR 公益社団法人びわこビジネスマンズビューロー/着ぐるみ3体
	12:00	12:00 - 12:30 国立劇場おきなわ 打楽器・民謡・舞踊(公財)国立劇場おきなわ運営財団/打楽器・民謡・舞	12:00 - 12:30 女性の運命を変える世界 トップレベルの美のパフォーマンス「江南(カンナム)」 江南メテカリソールセンター/江南区医療観光広域大使 ユビョン(中原有香)	12:00 - 12:30 2020東京オリンピック自転車ロードレースが相模原にやってくる! 畑中美子・横塚浩平(チーム右京) 所谷彩香(相模原市観光親善大使)ミウル(相模原市緑区キャラクター) 廣田信之(相模原市役所・オリンピック・パラリンピック推進員)/(一社)相模原市観光協会/トークショーとクイズ大会
	13:00	13:00 - 13:30 海外安全対策劇場 外務省/トークイベント・著名ゲスト	12:45 - 13:15 プリズチン パラダイス パラオ パラオダンサーズ/パラオ政府観光局/伝統舞踊・歌	12:45 - 13:15 「ご縁の国しまね」紹介 江津市石見神楽連絡協議会/島根県/着ぐるみ・ダンス
	14:00	14:00 - 14:30 韓国観光名誉広報大使 スザンヌがおススメする「魅力満載♥韓国ソウル女子旅」トークショー 韓国観光公社/スザンヌ	13:30 - 14:00 チェコ・南モラヴィア 伝統ツィンパロムバンドコンサート ストラージュニチャン・ツィンパロム・バンド チェコ共和国/音楽、歌、ダンス	13:30 - 14:00 和歌山県観光PR 山本 瑞香 (AKB48 チーム8)、小川 葉々子 (きのくにフレンズ)、わかばん (和歌山観光PRシンボルキャラクター)、未定 (MC) 公益社団法人和歌山県観光連盟/著名ゲスト・着ぐるみ
	15:00	15:00 - 15:30 タイ東北部イサーンの伝統楽器演奏と踊り カラシン・カレッジ・オブ・ドラマティック・アーツ タイ国政府観光庁/打楽器・楽器・舞踊	14:30 - 15:00 フィリピンミュージックライブ フィリピン/歌手ガウ	14:15 - 14:45 「落語×映像」で楽しむ「明治日本の産業革命遺産」 三遊亭歌武蔵 「明治日本の産業革命遺産」世界遺産協議会/落語
	16:00	16:00 - 16:30 どんぶり選手権表彰式 東京ドーム/表彰式	15:30 - 16:00 ウズベキスタン民族舞踊 GULISTON/グリスタン/ウズベキスタン/伝統舞踊・弦楽器	15:00 - 15:30 宇都宮カクテルバーテンダー presents 北関東3県オリジナルカクテルパフォーマンス&ご当地キャラクターPRステージ 北関東三県(茨城県、栃木県、群馬県)/着ぐるみ・カクテルショー
	17:00	16:30 - 17:00 グランドフィナーレ/主催者/セレモニー	16:30 - 17:00 Famagu'on Happon 〜グアムの歌と踊り〜 グアムチャモロダンス アカデミー グアム政府観光局/打楽器・楽器・歌・ダンス	15:45 - 16:15 コンペイトウ王国 オン ステージ ジュラップちゃん、(コンペイトウ王国の) 姫フロイスしおり コンペイトウ王国(大阪糖菓株式会社)/ダンス・トーク
				16:15 - 16:45 旅音人へたびおと〜 小浜勝祐+蒼政涼子+鳥山カオル/亀有パフォーマンスパーク 葛飾区/創作作品上映

セミナールーム

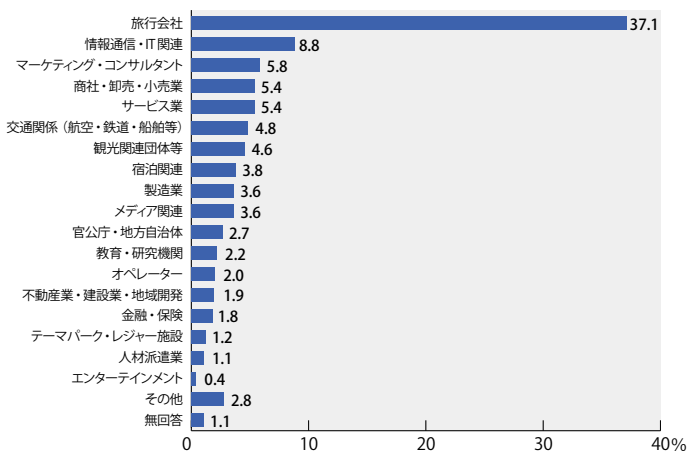
	開催場所	開催時間	団体名
9/22(土)	2F セミナールーム2	13:00~17:00	ハワイ州観光局
	東6 セミナールーム12	14:00~15:30	一般財団法人ロングステイ財団
9/23(日)	2F セミナールーム2	10:00~18:00	日本環太平洋ツーリズム学会

業界来場者／アンケート

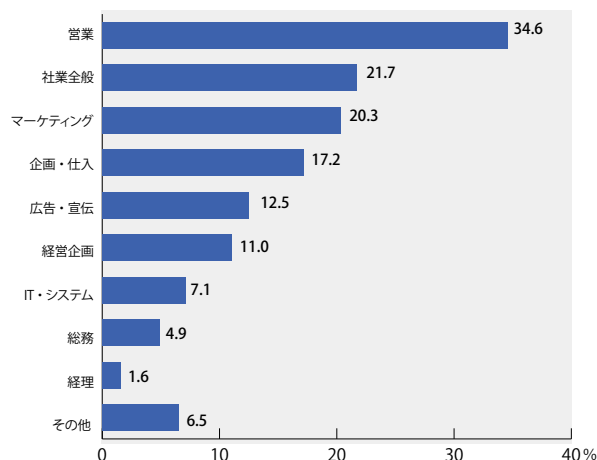
来場者の業種は「旅行会社」が37.1%と突出しているが、「情報通信・IT関連」「マーケティング・コンサルタント」「商社・卸売・小売業」など、来場者の広がりが見られる。来場目的別満足度を見ると、いずれも約8割以上が満足と回答しており、なかでも「知見を広げる」「情報収集」が9割を超え、観光産業の重要イベントとしての認知度と満足度の向上がうかがえる。

来場登録者集計 (n=13,362)

■業種

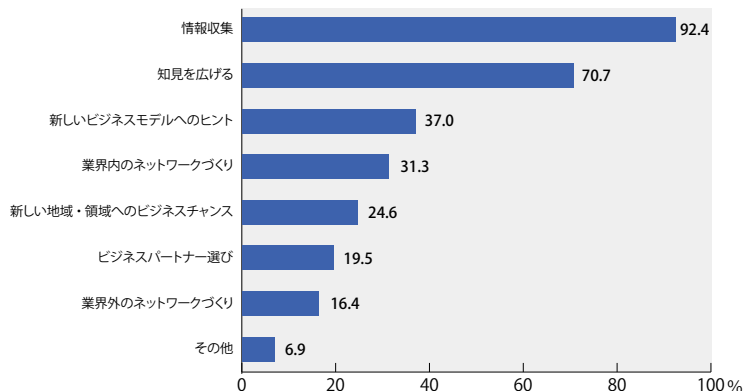


■業務内容

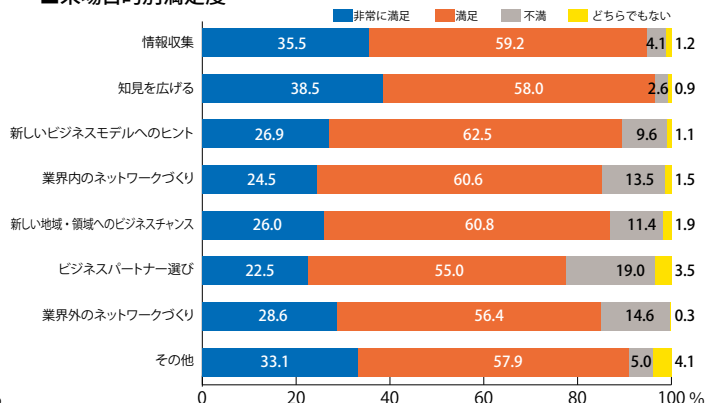


来場者アンケート (n=5,235)

■来場目的 (複数回答)



■来場目的別満足度

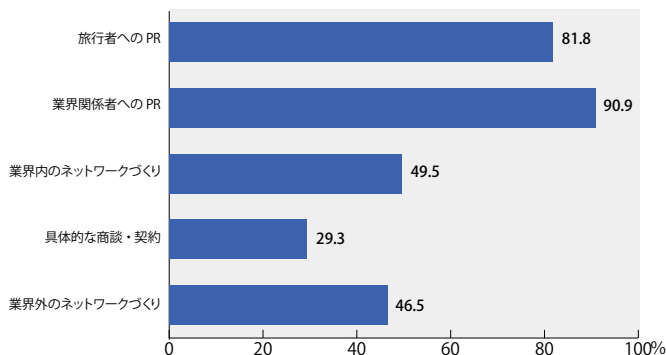


出展者アンケート

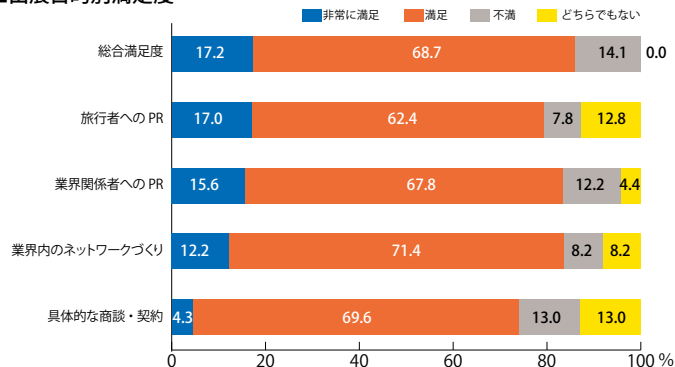
出展目的は「業界関係者へのPR」が約9割を占め、次いで「旅行者へのPR」が8割強となっている。総合満足度は8割強で、各目的別満足度も総じて高く、有意義な展示商談会であったことがうかがえる

(n=104)

■出展目的 (複数回答)



■出展目的別満足度



出展者コメント

■ BtoB

- ・商談会において新規旅行会社とつながり、ツアー造成に至った。
- ・商談会で新規開拓につながり、子出展者からの評判は良かったが、商談システムの入力方法などの改善を望む。
- ・他業種・異業種と商談を行い、観光事業にとどまらないネットワーク拡大につながった。
- ・マッチング商談だけではなく、多くの業界来場者とフリー商談を行い、今後の展開につながった。
- ・他出展ブースを回り、他者の情報収集や有意義な意見交換ができた。

■ BtoC

- ・関心度が高い潜在層にPRできて、見込顧客の拡大につながった。
- ・セミナーを通じて、多くの来場者に対して効果的な情報発信、宣伝PRをすることができた。
- ・年々来場者数も増加しており、多くの旅行者へツーリズムが観光だけでなく、文化交流など幅広いものであることをPRすることができた。
- ・テーマ出展エリアは効果的で、継続して出展を検討するが、もう少し出展者が増えればさらに魅力的なエリアになると思う。

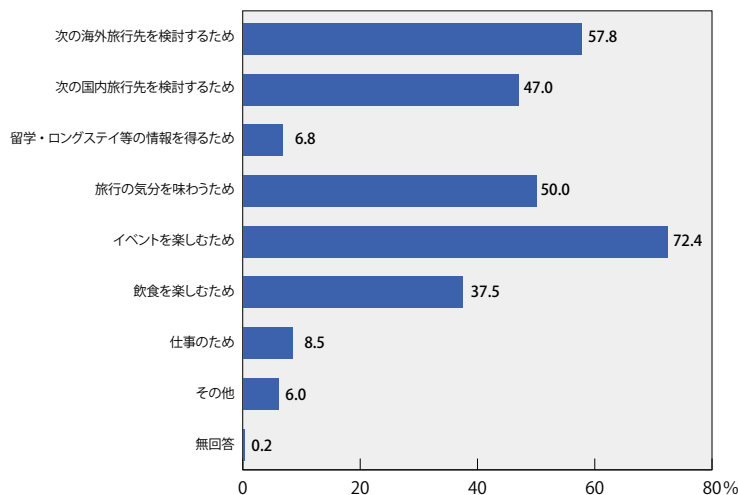
一般来場者アンケート

(n=998)

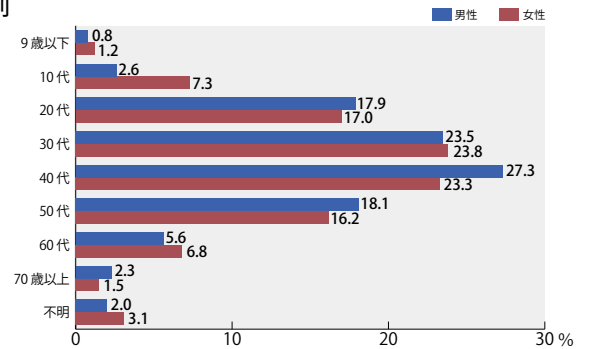
女性層が6割強と年代別では40代、30代、20代、50代の順となっている。来場目的は「イベントを楽しむため」がトップだが、「次の海外旅行先を検討するため」「旅行の気分を味わうため」「次の国内旅行先を検討するため」とする“旅”好きの来場者が多く、目的別満足度も高いことが見てとれる。

BtoB強化とともに、一般来場者向けの体験型イベントも多く見られた5回目のTEJは、一般消費者に対しても「旅の祭典」として広く認知されてきたようだ。

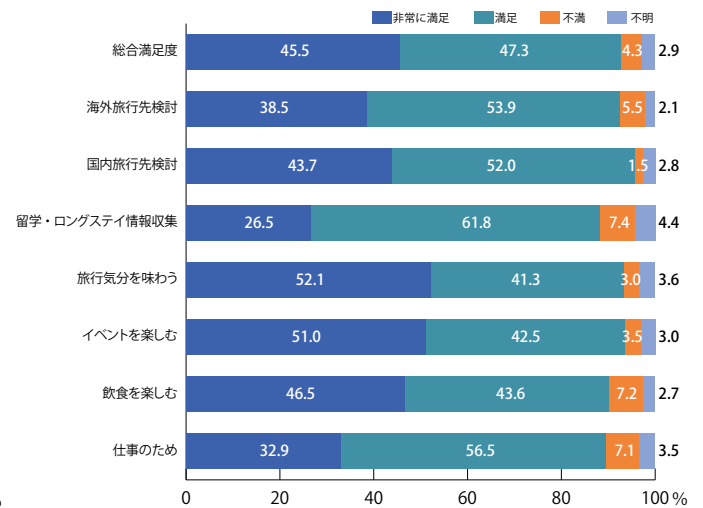
来場目的（複数回答）



年代・性別



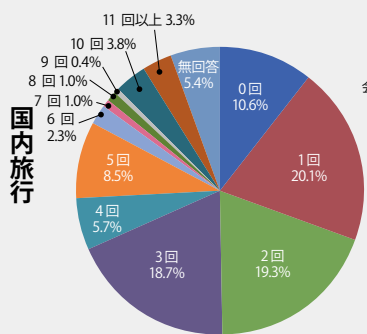
来場目的別満足度



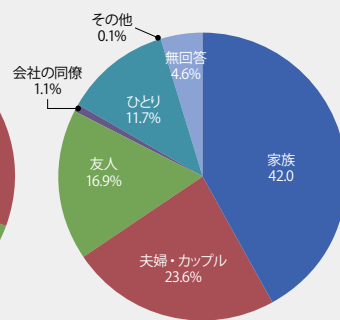
一般来場者の旅行動向

全体的に旅行意欲は非常に高く、国内旅行では8割強が年に1回以上の宿泊旅行を楽しみ、海外旅行では5割強が過去5年以内に1回以上の宿泊旅行を経験している。旅行形態は、国内旅行では「個人手配」が6割強を占めるが、海外旅行では「パッケージツアー（現地フリーも含む）」が5割強を占める。旅行手配の方法は、国内・海外ともインターネット予約の伸びが著しいものの、旅行会社経由の手配も4割強から5割と各社の努力が垣間見られる。

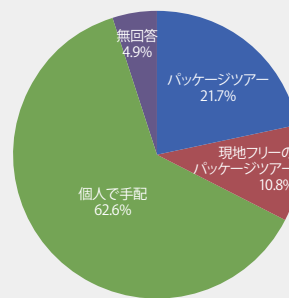
過去1年間の旅行経験（宿泊旅行）



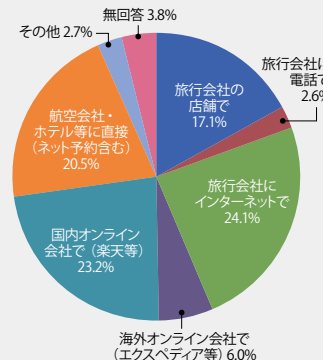
同行者



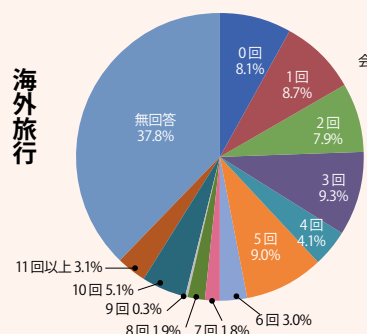
旅行形態



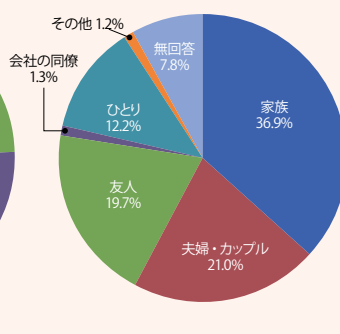
旅行手配先



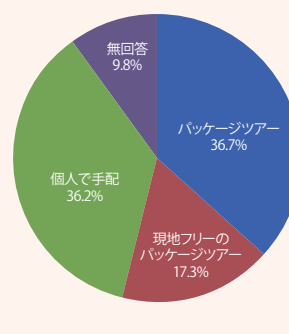
過去5年間の旅行経験（宿泊旅行）



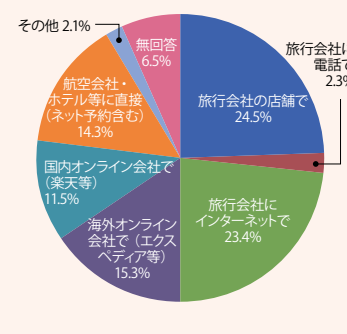
同行者



旅行形態



旅行手配先





全国で当地どんぶり選手権

in ツーリズムEXPOジャパン 2018

全国各地からご当地が誇る自慢のどんぶりが集結し、食べ比べたお客様の投票によってNo.1を決定する「全国ご当地どんぶり選手権（2019年1月開催）」の予選会が、今年もツーリズムEXPOジャパンで開催された。会場ではハーフサイズのどんぶりを500円で提供。本戦と同様に来場者がおいしいと思ったどんぶりに投票した。その結果、参加した16のどんぶりの中から10のどんぶりが本戦への出場権を手にした。

本戦への切符を手にした代表者は、喜びを噛み締めつつ「本戦まで寝ずにかんばります!」「本戦までしっかり寝て準備します!」「本戦では1位を目指します!」などと、東京ドームで行われる本戦への意気込みを力強く語った。



グルメゾーン

世界の名酒博

本場ミュンヘンのオクトーバーフェスト公式ブリュワリーのドイツビールのほか、ベルギー、チェコ、アメリカの世界の樽生ビールを提供。売り切れ続出の盛況を見せた。



ワールドフードコート

今年もアフリカや南米、トルコ、ミャンマー、ベルシヤ、日本料理など、各国自慢の料理が大集合! 世界のグルメに舌鼓を打つ人たちで賑わった。



ご当地グルメマーケット

今年は一般日限定で、全国各地のお取り寄せ企画やキッチンカーによるグルメ市を初開催。話題のプリンやカレー、アイスのほか、海外・国内のおみやげを取り揃えた販売コーナーなどに長蛇の列ができる人気ぶりだった。



オートキャンプ展示

旅の「新しいカタチ」として、車で行く旅の楽しさを提案するとともに、北欧テントブランドの「NORDISK」によるキャンプシーンなどを一般消費者に訴求した。会場では、ファミリーでテントに入って楽しむ姿も多く見られた。



広報宣伝活動

[テーマコピー、キービジュアル]

1. テーマコピー

ツーリズムEXPOジャパンの第1ステージ(2014年～2016年)の3年間は、主に一般消費者の旅行需要喚起を目的とした観光イベントとしての認知、ブランド形成が図られてきた。

第2ステージ(2017年・2018年)に入り、ビジネス面での効果が上がる展示商談会の完成と、国内・海外旅行に興味関心が高い一般消費者への広い認知と来場を促すことを目標として昨年のテーマコピーとキービジュアルを2年間使用、2018年用の表現とした。

＜一般消費者向け＞ 見つけよう。旅の「新しいカタチ」。

＜観光産業界向け＞ 創ろう。ツーリズムの「新しいカタチ」。

2. キービジュアル

〈デザインコンセプト〉

扉を開き、自身の旅の目的、嗜好にあわせ、楽しく・魅力あふれる旅先へ向かうイメージをデザイン表現、旅先の目的・場所・手段などによって無限に生みだされる旅の「新しいカタチ」を、“万華鏡”をモチーフに表現。体験重視のツーリズムの立体的な深まりや多様性をきらびやかに表現するビジュアルを踏襲した。



[デジタルメディア展開]



PC版



スマホ版

2018年版 公式ウェブサイトの特徴

- ・BtoB、BtoC向けサイトの視覚的区別強化、グローバルナビゲーションの操作連動により、サイト内のスムーズな誘導を実現
- ・スライドバナーの採用により、得たい情報への到達率を強化



2018年版 広告運用の特徴

■新規客層の開拓

- ・旅に関する体験談やストーリー・ノウハウなどの記事を取り扱うメディア【TABIPPO】とタイアップを行い、「旅」に興味関心の高い若年層やイベント未認知層への認知拡大を図った。
- ・記事タイアップと同時にプレゼントキャンペーンを実施することで、話題性を創出。

■効果的なweb広告運用

- ・9/5(水)～9/22(土)まで合計8つの媒体で広告配信を実施。各媒体の運用効率を見て、効率の良い媒体へ注力し運用。
- ・メディアとしては、若年層への認知拡大を目的にSNS広告、ボリューム重視でGoogle/Yahoo!、情報感度の高いユーザーが存在するニュースアプリSmartNews/Gunosyを選定。
- ・クリエイティブについては、6パターンを配信。複数のクリエイティブを配信することで、ユーザーにとって飽きのこない運用を目指し、クリエイティブの勝ちパターンを検証。

■インターネット広告ターゲット

広告投下エリア：関東1都6県、大阪

■ウェブサイトアクセス結果

ページビュー数：4,122,696PV

セッション数：762,863セッション

ユーザー数：465,615ユーザー

動画広告



9/19(水)～9/22(土)

視聴回数：337,504回

インターネット会場生中継

9/22(土)

インプレス/トラベルWatch

YouTube LIVE

「トラベルWatchチャンネル」

視聴ユニークユーザー数：6,259

ディスプレイ広告／yahoo! Google



9/5(水)～9/22(土)

Yahoo! 99,048,831imp、Google 17,330,423imp

リターゲティング広告：サイト訪問した顕在層を取り込む広告

地域ターゲティング広告：目的に合った地域のオーディエンスに配信する広告

ウェブメディア タイアップ記事広告

SmartNews

9/14(金)～9/22(土)

5,527,237imp

Gunosy

9/12(水)～9/22(土)

3,545,499imp

TABIPPO

9/5(水)～9/23(日)

ページビュー数：18,863PV

記事誘導

9/5(水)～9/22(土)

Twitter：1,789,785imp

Facebook：116,424imp

Insrtagram：210,404imp

公式サイト誘導 (リターゲティング)

9/11(火)～9/22(土)

Yahoo! 113,995imp

Google 50,524imp

【宣伝活動】

9月より交通広告、雑誌広告、ケーブルテレビCM、チラシ配布展開を実施。

◆交通広告

●駅貼り・B1ポスター



●中吊り・B3ポスター



●まど上・チャンネル



東京メトロ霞ヶ関駅



JR東日本山手線(まど上)



JR東日本山手線(まど上チャンネル)

社名	路線・掲出駅	期間	商品・規格
東京メトロ	秋葉原駅他49駅	9/8(土)～9/22(土)	駅貼り・B1
東武鉄道	本線用	9/3(月)～9/23(日)	駅貼り・B1
〃	東上用	9/3(月)～9/23(日)	駅貼り・B1
〃	東武トップツアーズ店舗用	9/3(月)～9/23(日)	駅貼り・B1
JR東日本	中央線群	9/18(火)～9/19(水)	中吊り・B3
〃	京浜線群	9/19(水)～9/20(木)	中吊り・B3
〃	山手線群	9/19(水)～9/20(木)	中吊り・B3
〃	SSUTライン他	9/18(火)～9/20(木)	中吊り・B3
〃	京浜東北線、山手線、中央線(3線群)	9/18(火)～9/24(月)	まど上・B3
〃	山手線E235系	9/17(月)～9/23(日)	まど上チャンネル

ゆりかもめADトレイン 9月11日(火)～9月30日(日)

●まど上(インターサイズ) 140枚



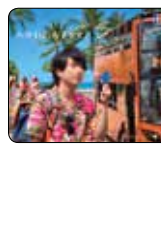
●B3額 25枚



●ドア横 30枚



●ステッカー 30枚



◆事前告知ツール

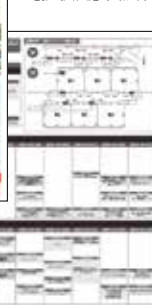
●開催告知ポスター(B3サイズ) 計1,000枚 【提供先】出展者



●一般来場者用チラシ 和文(A4サイズ) 計75,000枚 【提供先】日本旅行業協会役員会社、支店営業/出展者



●業界来場者チラシ(A3サイズ) 計1,000枚 【提供先】出展者



◆雑誌広告・テレビ・屋外映像広告



- 8月29日(水)～9月22日(土) 旅チャンネル 75回
- 9月 5日(水)～9月22日(土) カートゥーン ネットワーク 30回
- 9月 1日(土)～9月22日(土) 羽田空港 国内線出発ゲート モニター映像広告

- 全日空『翼の王国』8月号
- 日本航空『スカイワード』9月号
- 日本経済新聞「インバウンド・観光ビジネス総合展」に絡めた広告出稿

- 観光経済新聞
- ・掲載日:8月19日(日) ・掲載サイズ:全3段



[広報活動]

◆広報活動の方針

段階的な情報配信

- ・ BtoB向け：1月から業界誌での記事化による認知拡大と出展意欲を向上、6月からの開催情報の配信による集客を狙う。
- ・ BtoC向け：6月から一般紙、デジタル媒体への情報配信と、開催前の出展情報収集に基づく情報配信で集客を狙う。

質と量、バランスの良い情報配信

- ・ イベント開催直前期に集中していた従来の情報配信から、定期配信による恒常的な認知促進、盛り上げ創出を狙う。

さまざまな露出機会を創出

- ・ ストレートニュースだけではなく特集、企画など大型かつ、質の高い露出獲得を狙う。

◆実施した施策

業界向け集客 (B to B)

- ・ HTML形式の配信メールマガジンの定期拡配信
対象：2017業界来場登録者(約12,700人)、プレス登録者(約900人)
- ・ 海外の業界関係者向けメール配信
対象：旅行ジャーナリスト、旅行展参加者、媒体購読者(約230,000人)

業界および、一般向け集客 (B to B/B to C)

- ・ プレスブリーフィング(9月6日実施・24媒体26名出席)
会期中の多くの報道露出獲得に向け実施、メディアに対して出展者の旬の情報や出展内容など、直接アプローチする環境を構築。
- ・ テーマ別観光をフックとしたメディアアプローチ
産業観光や酒蔵ツーリズム、スポーツツーリズム、ウェディングなどをフックにアプローチ範囲を他業界メディアへ拡大、底上げを図った広報活動。

出展者の満足度を上げる施策

- ・ デイリーニュース発行(9月20日、21日、22日・各1万部発行)
大臣会合を当日取材、要録し翌日報道を行う。
- ・ 在日外国人ジャーナリストとのマッチング
国内出展者と在日外国人ジャーナリスト9名をマッチングし商談するプログラムを実施。(国内28団体が参加)

◆広報活動の成果

取材メディア数：全1,270名 掲載件数：全2,184記事

テレビ 6番組

TX「よじごじDays」での6分の長尺での中継をはじめ、NHK「ニュース シブ5時」や、TX「ワールドビジネスサテライト」では通常のビジネステーマに留まらず、レポーターのブース体験などが盛り込まれたイベント紹介として露出。さらに中京テレビや沖縄放送など、地方局も多数来場。



「よじごじDays」(テレビ東京)
9月20日(木)



「ワールドビジネスサテライト」(テレビ東京)
9月20日(木)



「ゆうがたサテライト」(テレビ東京)
9月20日(木)



「ニュース シブ5時」(NHK)
9月28日(金)

新聞・雑誌 179件

朝日新聞、読売新聞、産経新聞、毎日新聞、日本経済新聞と、主要中央紙すべてに掲載。当日取材記事他、会期前のチケットプレゼント情報に始まり、アワード関連や大臣会合関連などの業界向け情報まで、幅広い切り口での掲載を獲得した。

読売新聞 札幌
9月20日(木)

朝日新聞
9月22日(土)、23日(日)



日本経済新聞
9月20日(木)

毎日新聞
9月21日(金)



ラジオ 1件

文化放送で9分を超える生中継を獲得。

WEB 1,998件

近年最も波及力の高いマスメディア系のWEBサイトをはじめ、SNSへの影響力が高いバイラル・トレンド系WEBメディア、引き続き圧倒的なPV数を誇るYahoo!での複数転載、さらに各種業界メディアでの掲載など、デジタル上でも包括的に露出を獲得した。



地球の歩き方
9月22日(土)



日本経済新聞電子版
9月20日(木)

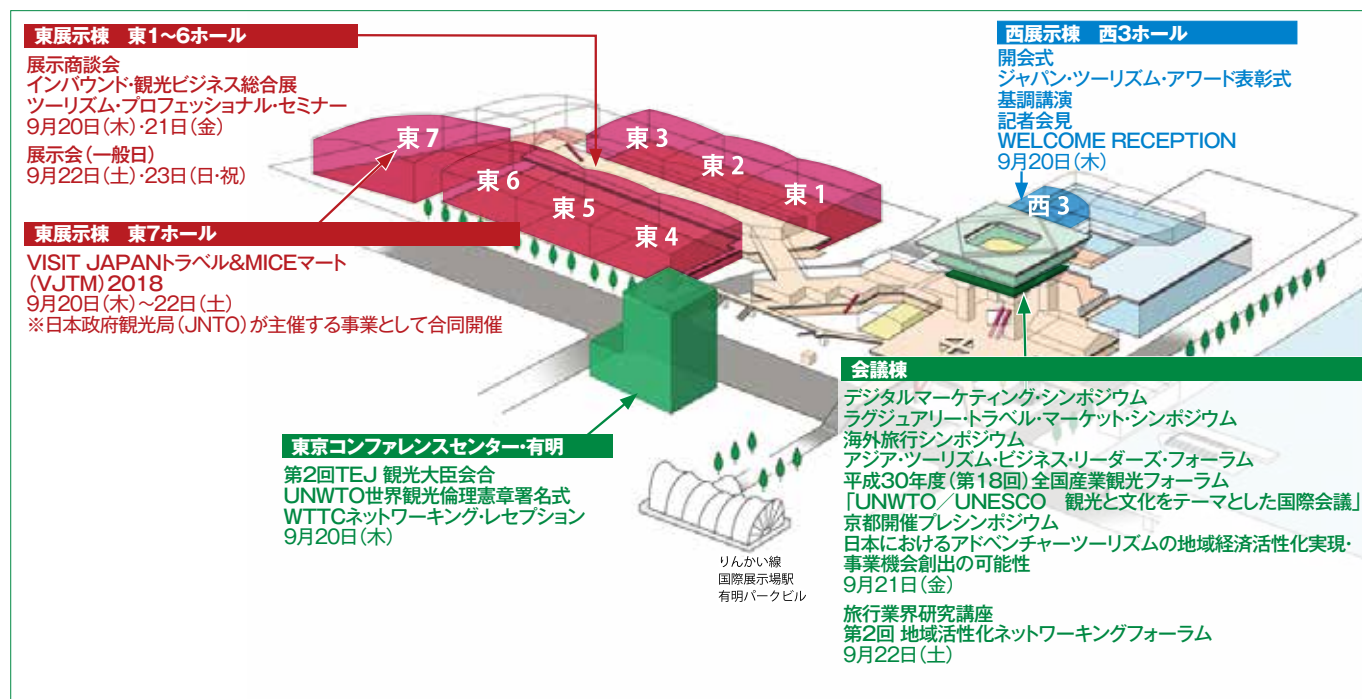


KK KYODO NEWS SITE
9月23日(日)

ツーリズムEXPOジャパン2018

日	会場	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	
9月20日 (木)	西展示棟3ホール	開会式 9:30 - 9:45		基調講演 10:25 - 11:05	主催者会見 11:10-11:45		日韓観光交流共同緊急アピール 11:45-12:05						WELCOME RECEPTION 18:30 - 20:00				
	東京コンファレンスセンター・有明	ジャパン・ツーリズム・アワード表彰式 9:45 - 10:25				UNWTO世界観光倫理 憲章署名式 14:10-14:25		第2回観光大臣会合 14:30 - 16:30		WTTCネットワーキング・レセプション 17:00 - 18:00							
	東展示棟1～6ホール							展示商談会 12:00 - 18:00									
								インバウンド・観光ビジネス総合展 10:00 - 18:00									
								ツーリズム・プロフェッショナル・セミナー 10:30 - 18:00									
	東展示棟7ホール							VISIT JAPANトラベル&MICEマート (VJTM) 2018 13:00 - 18:00									
9月21日 (金)	会議棟605・606	デジタルマーケティング・シンポジウム 10:00 - 12:00				ラグジュアリー・トラベル・マーケット・ シンポジウム 13:00 - 14:30		海外旅行シンポジウム 15:30 - 17:00									
	会議棟607・608	アジア・ツーリズム・ビジネス・リーダーズ・フォーラム 10:00 - 12:30				平成30年度 (第18回) 全国産業観光フォーラム 13:30 - 16:00				[UNWTO/UNESCO 観光と文化をテーマと した国際会議] 京都開催プレシンポジウム 17:00 - 18:15							
	会議棟703	日本におけるアドベンチャーツーリズムの 地域経済活性化実現・事業機会創出の可能性 10:00 - 12:00															
	東展示棟1～6ホール							ツーリズム・プロフェッショナル・セミナー 10:30 - 18:00						出展者小間内レセプション 18:00 - 20:00			
								展示商談会 10:00 - 18:00									
								インバウンド・観光ビジネス総合展 10:00 - 18:00									
	東展示棟7ホール							VISIT JAPANトラベル&MICEマート (VJTM) 2018 9:30 - 18:00						VJTM交流会 18:30 - 20:00			
9月22日 (土)	会議棟605・606							旅行業界研究講座 14:00 - 18:00									
	会議棟607・608							第2回 地域活性化 ネットワーキングフォーラム 13:00 - 15:00									
	東展示棟1～6ホール							展示会 (一般日) 10:00 - 18:00									
	東展示棟7ホール							VISIT JAPANトラベル&MICEマート (VJTM) 2018 9:30 - 17:30									
9月23日 (日)	東展示棟1～6ホール							展示会 (一般日) 10:00 - 17:00						閉会式・グランドフィナーレ 16:30 - 17:00			

ツーリズム EXPO ジャパン 2018 会場



■ 東京ビッグサイト ゆりかもめ「国際展示場正門」駅下車 徒歩約3分
 りんかい線「国際展示場」駅下車 徒歩約7分

■ 東京コンファレンスセンター・有明 ゆりかもめ「国際展示場正門」駅下車 徒歩約4分
 りんかい線「国際展示場」駅下車 徒歩約5分

運営／協賛・協力機関団体リスト

【イベント名称】 ツーリズムEXPOジャパン 2018 / Tourism EXPO Japan 2018
 【主催】 公益社団法人 日本観光振興協会、一般社団法人 日本旅行業協会（JATA）、日本政府観光局（JNTO）

組織委員会

<委員長>
 山西 健一郎 公益社団法人 日本観光振興協会 会長

<副委員長>
 田川 博己 一般社団法人 日本旅行業協会（JATA） 会長
 清野 智 日本政府観光局（JNTO） 理事長

<委員>
 赤石 良治 東日本旅客鉄道株式会社 常務取締役
 市井 三衛 特定非営利活動法人 映像産業振興機構 専務理事 事務局長
 伊東 信一郎 ANAホールディングス株式会社 取締役会長
 植木 義晴 日本航空株式会社 代表取締役会長
 小島 徹 東日本高速道路株式会社 代表取締役社長
 川添 雄彦 グローバルコミュニケーション開発推進協議会 副会長／
 日本電信電話株式会社 取締役 研究企画部門長
 株式会社ワールド航空サービス 代表取締役会長
 一般社団法人 日本旅館協会 会長
 株式会社西武ホールディングス 代表取締役社長
 一般社団法人 全国旅行業協会（ANTA） 副会長
 東武トップツアーズ株式会社 代表取締役社長
 株式会社ジェーシービー・インターナショナル 代表取締役副会長
 環境省 自然環境局長
 一般社団法人 日本ホテル協会 会長
 スポーツ庁 長官
 公益社団法人 関西経済連合会 副会長／
 阪急電鉄株式会社 代表取締役会長
 一般財団法人 沖縄観光コンベンションビューロー 会長
 BOAR（在日航空会社代表者協議会） 運営委員会理事／
 ユナイテッド航空会社 日本地区営業担当 支社長
 株式会社JTB 代表取締役社長
 国土交通省 観光庁 長官
 一般社団法人 日本経済団体連合会 副会長
 内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推
 進本部事務局 事務局長
 経済産業省 商務・サービス審議官
 東京都産業労働局 局長
 フレデリック・マゼンク Atout France フランス観光開発機構 在日代表 アジア・太平洋・
 中東地区統括責任者
 株式会社日本旅行 代表取締役社長
 文化庁 長官
 一般社団法人 日本民営鉄道協会 会長／
 小田急電鉄株式会社 取締役会長

<監事>
 田中 正人 田中正人税理士事務所 所長
 平岡 正明 ANAホールディングス株式会社 グループ監査部 担当部長

実行委員会

<委員長>
 田川 博己 一般社団法人 日本旅行業協会（JATA） 会長

<副委員長>
 久保 成人 公益社団法人 日本観光振興協会 理事長
 志村 務 日本政府観光局（JNTO） 総括理事

<特別顧問>
 本保 芳明 国連世界観光機関 駐日事務所 代表

<委員>
 秋保 哲 全日本空輸株式会社 マーケティング室 観光アクション部 担当部長
 五十嵐 克也 日本商工会議所 地域振興部長
 生田 亨 株式会社JTB 常務執行役員 個人事業本部 海外仕入商品事業部長
 井上 和也 環境省 自然環境局 国立公園課 国立公園利用推進室 室長
 今泉 典彦 一般社団法人 日本経済団体連合会 観光委員会企画部会 部会長／
 株式会社第一生命経済研究所 代表取締役副社長
 株式会社日本旅行 取締役（兼） 常務執行役員 個人旅行営業統括本
 部長
 公益財団法人 日本財団パラリンピックサポートセンター 常務理事
 小澤 直 東京都産業労働局 観光部 部長
 小沼 博靖 国土交通省 観光庁 審議官
 金井 昭彦 KNT-CTホールディングス株式会社 海外旅行部長
 河野 淳 グローバルコミュニケーション開発推進協議会 事務局代表
 木俣 豊 公益社団法人 日本観光振興協会 副理事長
 久保田 稯 東日本旅客鉄道株式会社 総合企画本部 観光戦略室 室長
 黒田 英朗

小堀 守 日本政府観光局（JNTO） 理事
 齋藤 福栄 スポーツ庁 スポーツ総括官
 齊藤 文代 株式会社阪急交通社 CSR推進本部 広報部長
 堀田 信司 日本航空株式会社 旅客販売統括本部 企画部 担当部長
 志村 格 一般社団法人 日本旅行業協会（JATA） 理事長
 高橋 一郎 内閣官房 東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会
 推進本部事務局 企画・推進統括官
 檀原 徹典 株式会社ミキ・ツーリスト 代表取締役社長
 内藤 敏也 文化庁 長官官房審議官
 横田 寿文 特定非営利活動法人 映像産業振興機構 事務局次長
 渡邊 康洋 桜美林大学ビジネスマネジメント学 専任教授

<オブザーバー>
 芳田 隆 公益財団法人 大阪観光局 常務理事

【後援】 国土交通省、国土交通省観光庁、総務省、外務省、スポーツ庁、文化庁、農
 林水産省、経済産業省、環境省、東京都、公益財団法人 東京観光財団、独
 立行政法人 日本貿易振興機構（ジェトロ）、一般社団法人 日本経済団体
 連合会、日本商工会議所、東京商工会議所

【企画・運営】 ツーリズムEXPOジャパン推進室

【特別協賛】 株式会社ジェーシービー

【事業別協賛】

●展示商談会
 ゴールドスポンサー：フィリピン政府観光省
 シルバースポンサー：インドネシア共和国観光省、ハワイ州観光局、全日本空輸株式会社、
 日本航空株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、成田国際空港株式会社、株式会社ヒト・
 コミュニケーションズ
 ブロンズスポンサー：株式会社オリエンタルランド、東京海上日動火災保険株式会社、大
 塚製菓株式会社
 賛助協賛：東海旅客鉄道株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、北海道旅客鉄道株式会
 社、四国旅客鉄道株式会社、九州旅客鉄道株式会社

●ツーリズムEXPOジャパンフォーラム
 フォーラムストラップ協賛：タイ国政府観光庁
 フォーラムバッグ協賛：株式会社旅行綜研

●ジャパン・ツーリズム・アワード
 協賛：株式会社ジェーシービー

●WELCOME RECEPTION
 ホテルマネジメントインターナショナル株式会社、全日本空輸株式会社、日本航空株式
 会社、株式会社ヒト・コミュニケーションズ、株式会社伊藤園

●商談会
 バイヤーズラウンジスポンサー：オーエージーアピエーションワールドワイドリミテッド

【広告協賛】

●会場外広告
 動く歩道ポスターボード広告：株式会社ジェーシービー、東京海上日動火災保険株式会
 社、株式会社バラダイス
 会場入口会場案内横広告：イタリア政府観光局
 ガレリアパナー広告：株式会社ジェーシービー、フィリピン政府観光省、成田国際空港株
 式会社、トルコ大使館・文化広報参事官室
 ガレリア中央柱巻広告：フィリピン政府観光省、エジプト政府観光局
 ガレリア柱巻広告：インドネシア共和国観光省、ハワイ州観光局、全日本空輸株式会
 社、日本航空株式会社、成田国際空港株式会社、NEPAL TOURISM BOARD

●会場内広告
 天井吊りパナー広告：株式会社JTB、東武トップツアーズ株式会社、イタリア政府観光局
 ホール入口柱巻広告：インドネシア共和国観光省、ハワイ州観光局、全日本空輸株式会
 社、日本航空株式会社

●会場プロモーション
 展示会ガイドブック広告：株式会社ジェーシービー、フィリピン政府観光省、インドネシア
 共和国観光省、ハワイ州観光局、全日本空輸株式会社、日本航空株式会社、東日本旅客
 鉄道株式会社、成田国際空港株式会社、AIG損害保険株式会社、テス
 ロ株式会社
 展示会業界日パスフォルダー広告：タイ国政府観光庁
 クッズ・ノベルティ配布協賛：株式会社ジェーシービー

【事業協力】

●WELCOME RECEPTION
 ステージ：榎戸二幸／箏演奏、破天航路、虎姫一座、盛岡さんさ踊り
 提供：岩手県、山梨県、日本酒蔵ツーリズム推進協議会、梅守本店

●広告広報協力
 全日本空輸株式会社、日本航空株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、東武鉄道株式会
 社、東京地下鉄株式会社、日本空港ビルディング株式会社

（*順不同）
 （2018年9月1日現在）



KOTFA

世界50ヵ国・地域、500を超える企業・団体が出展参画する韓国を代表する観光情報展

The 34th Korea World Travel Fair 2019

開催日：2019年6月6日（木）～6月9日（日）

出展申込受付中！（2019年4月12日まで）

会場：COEX - Hall A & B1

主催：韓国国際観光展（KOTFA2019）実行委員会

www.kotfa.co.kr

ツーリズムEXPOジャパンと、韓国国際観光展（KOTFA）はイベントを通じた観光促進協力協定を締結しています。

観光ビジネスに関わる情報と関係者が集結する総合観光イベント



ツーリズムEXPOジャパン 2019 OSAKA

「ツーリズムEXPOジャパン2019 大阪」出展申込受付中！

2019年

10/24^木 - 10/27^日

会場 インテックス大阪およびその周辺 来場者数 (見込) 130,000人(業界:34,000人、一般96,000人)

併催/インバウンド・観光ビジネス総合展2019

合同開催/VISIT JAPANトラベル& MICE マート(VJTM) 2019

大阪開催のポイント

主要4事業をそのまま大阪へ

展示商談会

フォーラム
& セミナー

顕彰事業

交流会

インバウンド・観光ビジネス総合展(IB) 2019

共催:日本経済新聞社

VISIT JAPAN トラベル& MICE マート(VJTM) 2019

主催:日本政府観光局(JNTO)

*プログラム・スケジュールについては変更となる場合があります。予めご了承ください。

料金表

		基礎小間	スペース(敷地渡し)
出展料	早割申込期限(※) 2018年11月1日(木)~2019年3月1日(金)	¥414,000(税別) / 小間(9㎡)	¥368,000(税別) / 小間(9㎡)
	通常申込期限(※) 2019年4月30日(火)	¥450,000(税別) / 小間(9㎡)	¥400,000(税別) / 小間(9㎡)

(※)2019年10月1日より消費税法一部改正が予定されているため、展示会開催時の税率が適用されますので予めご了承ください。

お申込みは公式サイトから! <http://t-expo.jp/biz>

【問合せ先】ツーリズムEXPOジャパン推進室

E-mail: event@t-expo.jp TEL: 03-5510-2004

各種情報・資料等の閲覧、ダウンロードはこちら

公式ホームページ <http://t-expo.jp/biz>